令和元年度
千葉市 盲ろう者実態調査
報告書

目次

第１部　調査の概要 1
１．調査の目的 1
２．調査の対象 1
３．調査の方法 1
４．訪問調査結果 1
５．調査期間 1
６．調査項目 1
７．利用上の注意 1
第２部　結果の概要 15
第１章　調査対象者と調査協力者 15
１．調査対象者の居住区 15
２．調査協力者の居住区 15
第２章　調査協力者の基本的属性 16
１．年齢、性別 16
２．視聴覚障害組み合わせ（等級） 17
３．視聴覚障害組み合わせ（状態・程度） 19
４．視聴覚障害の受障経緯 21
５．可能および最も円滑な発信コミュニケーション方法 23
６．可能および最も円滑な受信コミュニケーション方法 25
第３章　調査項目 27
１．本人の属性 27
（１）基本項目 27
問１　氏名 27
問２　年齢　　Ｐ１６参照 27
問３　性別　　Ｐ１６参照 27
（２）住まい 27
問４　住まい 27
（３）障害の状況 30
問５　視覚障害の発障年齢 30
問６　視覚障害の進行 32
問７　視力の状態 34
問７－1　視野の状態 36
問８　視覚障害等級 37
問９　聴覚障害の発障年齢 39
問１０　聴覚障害の進行。 41
問１１　聴力の状態 43
問１２　聴覚障害等級 46

問１３　視覚・聴覚以外の障害の有無 48
問１３－1　視覚・聴覚以外の障害の種類と等級 50
問１４　障害者手帳の総合等級 51
問１５　障害支援区分認定 53
問１５－1　障害支援区分 55
（４）　職業等 56
問１６　就業 56
問１６－1－（１）　就業の形態 56
問１６－1－（２）　就労時間 56
問１６－1－（３）　就労先での勤務内容 56
問１６－1－（４）　勤続年数 57
問１６－２　通学している学校の種類 57
問１７　通勤(通学)介助の要不要 57
問１８　通勤(通学)の方法 57
２．コミュニケーション方法 58
問１９　可能な発信コミュニケーション方法 58
問２０　最も円滑な発信コミュニケーション方法 60
問２１　独力での発信能力 62
問２２　可能な受信コミュニケーション方法 64
問２３　最も円滑な受信コミュニケーション方法 66
問２４　独力での受信能力 68
問２５　遠隔地への連絡コミュニケーション方法 70
問２６　会話頻度 72
問２７　相手別会話頻度 74
３．生活の状況 75
（１）外出 75
問２８　単独移動能力 75
問２９　支援を受けた場合の移動能力 77
問３０　外出頻度 79
問３１　目的別外出頻度 81
問３２　相手別外出頻度 82
問３３　白杖の利用 82
（２）同居者 83
問３４　同居者 83
問３５　同居者とのコミュニケーション方法 85
４．情報入手 86
問３６　文章を読むときの使用文字 86
問３７　独力での情報入手能力 87

問３８　情報入手頻度 90
問３９　手段別情報入手頻度 93
５．災害時の避難について 94
問４０　災害時の支援者 94
問４１　避難所の場所や避難経路の認知 96
問４２　災害への備え 98
問４３　過去の災害で困ったこと（自由記述） 99
問４４　災害に対する具体的な不安（自由記述） 99
６．福祉サービスの認知状況・利用状況・不利用の理由 100
問４５　人的支援による福祉サービス利用の有無 100
問４６　人的福祉サービス不利用の理由 101
問４７　人的支援による福祉サービスの利用希望有無 102
問４８　介護保険サービス利用有無 103
問４８－１　要支援・要介護度 103
問４９　補装具・日常生活用具の支給・給付有無 103
問４９－１　給付・支給済の補装具・日常生活用具 104
問５０　ヘルプカードの認知 105
問５１　利用を希望するサービス 105
問５２　生活全般の困難・ニーズ（自由記述） 106
問５３　盲ろう者関係団体からの案内の希望の有無 107

第１部　調査の概要

１．調査の目的

市内の盲ろう者の生活実態を明らかにするとともに、本市における盲ろう者への支援策の検討の基礎資料とする。

また、同調査を通じて、盲ろう者への支援制度を周知することにより各種サービスの利用を促し、もって盲ろう者の福祉の増進につなげることを目的に実施とする。

２．調査の対象

市内で在宅生活している盲ろう者

（参考）視覚・聴覚両方に係る身体障害者手帳を取得している者　４７名

３．調査の方法

訪問調査　盲ろう者の自宅を訪問のうえ、直接、盲ろう者本人から聴き取り調査を行う。

４．訪問調査結果

対象者は４７名いたが、実際に自宅等を訪問し本人などから調査を行ったのは２４名。約半数から回答を得ることが出来た。

４７名の居住区を考慮し４つのグループに分け、日にちをずらして（７／２２、８／２、８／１６、１０／３）案内を送付した。１回目の締め切り期日までに返答のなかった者に対しては、２回目の送付を行い、それでも返答のなかった１１名に対して３回目（１１／１３）の案内を送付した。

返答があった者に対しては、その調査希望日に応じて、障害者自立支援課職員１名、ＮＰＯ法人千葉盲ろう者友の会聴き取り調査担当者１名、通訳・介助者１名の３名態勢で訪問調査を行った。

訪問調査の月別内訳は、８月８名、９月７名、１０月８名、１月１名である。

案内の送付を３回郵送しても返答の無かった１１名に対しては、１２月１２日に自宅を直接訪問した。その結果は、本人と面談し調査の説明を行った者が１名、家族に説明した者が２名、不在のため郵便受けに投函６名、投函不能２名であった。その内の１名より返答があり、訪問調査を行うことができた。

そのほかに、すでに死亡や転居がわかった者、面談を希望しない旨の連絡があった者には訪問調査を行っていない。

５．調査期間

令和元年７月～令和２年１月

６．調査項目

調査項目は、別紙１のとおりである。

７．利用上の注意

結果の概要については　２４名の調査協力者からの回答について記す。

別紙１

盲ろう者生活実態調査　調査票調査項目

１　本人の属性

（１）基本項目

問１　あなたの名前をお答えください。

問２　あなたの年齢をお答えください。（２０１９年４月１日時点の年齢）

問３　あなたの性別をお答えください。

（２）住まい

問４　お住まいに以下の選択肢のうち、いずれにあてはまるかお答えください。

１　自分や家族の持家（一軒家）

２　自分や家族の持家（マンション等）

３　民間賃貸住宅（一軒家）

４　民間賃貸住宅（マンション等）

５　公営住宅（県営住宅・市営住宅）

６　社宅・職員寮・寄宿舎等の宿舎

７　グループホーム

８　入所型施設

９　その他（具体的に：　　）

（３）障害の状況

【目の障害に関する質問です】

問５　目（視覚）の障害が生じはじめたのは何歳ごろですか。

問６　目（視覚）の障害が生じはじめてから、障害の状態は進行（悪化）していますか。

１　かなり進行（悪化）している

２　やや進行（悪化）している

３　進行していない

問７　現在の視力の状態について、以下の選択肢から、あてはまるものを一つお答えください。

１　光も感じない

２　電灯等の明るい光は見える

３　目の前で手を動かせばわかる

４　目の前に出された指の本数が数えられる

５　大きな文字（新聞の見出しなど）を読める

６　小さな文字（新聞の記事など）を読める

※　３～６の回答の方については、問７－１に進む

別紙１

問７－１　現在の視野の状態について、以下の選択肢のから、あてはまるものを一つお答えください。

１　視野に障害はない

２　中心が見えにくい

３　周辺が見えにくい

４　その他（具体的に：　　）

問８　身体障害者手帳に記載してある視覚障害の等級をお答えください。

【耳の障害に関する質問です】

問９　耳（聴覚）の障害が生じはじめたのは何歳ごろですか。

問１０　耳（聴覚）の障害が生じはじめてから、障害の状態は進行（悪化）していますか。

１　かなり進行（悪化）している

２　やや進行（悪化）している

３　進行していない

問１１　現在の耳（聴覚）の状態について、以下の選択肢から、あてはまるものを一つお答えください。

１　話し声をまったく聞き取れない

２　耳元で大きな話し声なら聞き取れる

３　少し離れても大きな話し声なら聞き取れる

４　少し離れても普通の大きさの話し声を聞き取れる

問１２　身体障害者手帳に記載してある聴覚障害の等級をお答えください。

【障害全般に関する質問です】

問１３　視覚と聴覚以外に障害はありますか。

１　ある（問１３－１に進む）　　２　ない

問１３－１（視覚と聴覚以外に障害のある方）に該当する障害の種類と等級をお答えください。

１音声・言語・そしゃく機能障害、２平衡機能障害、３肢体不自由、４内部障害、５精神障害、６知的障害

問１４　あなたの身体障害者手帳に記載してある総合等級をお答えください。

問１５　障害者自立支援法の障害支援区分の認定を受けていますか。

１　認定を受けている（問１５－１に進む）

２　申請したが、非該当だった

３　申請をしていない

４　申請中

別紙１

問１５－１（障害程度区分の認定を受けている方）
障害程度区分はいくつですか。

（４）職業等

問１６　あなたは就業又は通学をしていますか。
１　就業している（問１６－１に進む）
２　通学している（問１６－２に進む）
３　いずれもしていない

問１６－１－（１）　就業の形態をお答えください。
１　正社員
２　契約社員
３　嘱託社員
４　派遣社員
５　パート・アルバイト
６　自営業

問１６－１－（２）　週何時間程度勤務していますか。

問１６－１－（３）　就労先での勤務内容を具体的に教えてください。

問１６－１－（４）　現在の就労先の勤続年数は何年くらいですか。

問１６－２　通学している学校の種類をお答えください。
１　小学校
２　中学校
３　高等学校
４　大学
５　専門学校
６　特別支援学校（　　）
７　その他（具体的に：　　）

問１７　通勤（通学）は一人で行っていますか、若しくは介助が必要ですか。
１　（介助を受けずに）一人で通勤（通学）できる
２　介助が必要（介助者：　　）

問１８　通勤（通学）の方法をお答えください。
１　公共交通機関（電車）
２　公共交通機関（バス）
３　自動車（あなたの運転）
４　自動車（あなた以外の運転）
５　スクールバス又は就業先の専用バス
６　徒歩
７　その他（具体的に：　　）

別紙１

２　コミュニケーション方法

問１９　あなたの言葉を相手に伝えるとき（話すとき）に使っているコミュニケーション方法をすべてお答えください。

１　音声
２　手話
３　触手話
４　弱視手話
５　指文字（ローマ字式・日本語式）
６　文字（筆談・空書き・てのひら書き）
７　点字筆記
８　指点字
９　その他（具体的に：　　）
１０　特にない

問２０　問１９でお答えになった方法のうち、最もスムーズにコミュニケーションできる方法について、あてはまる方法を一つお答えください。

１　音声
２　手話
３　触手話
４　弱視手話
５　指文字（ローマ字式・日本語式）
６　文字（筆談・空書き・てのひら書き）
７　点字筆記
８　指点字
９　その他（具体体に：　　）
１０　特にない

問２１　初めて会う人（手話や指文字、点字などを知らない人）に、自分の言いたいことを、おひとりでどの程度、伝えることができますか。

１　まったく伝えられない
２　あまり伝えられない
３　どちらともいえない
４　かなり伝えられる
５　すべて伝えられる

別紙１

問２２　あなたが相手の言葉を受け取るとき（聞くとき）に使っているコミュニケーション方法をすべてお答えください。

１　音声
２　手話
３　触手話
４　弱視手話
５　指文字（ローマ字式・日本語式）
６　文字（筆談・空書き・てのひら書き）
７　点字筆記
８　指点字
９　その他（具体体に：　　）
１０　特にない

問２３　問２２でお答えになった方法のうち、最もスムーズにコミュニケーションできる方法について、あてはまる方法を一つお答えください。

１　音声
２　手話
３　触手話
４　弱視手話
５　指文字（ローマ字式・日本語式）
６　文字（筆談・空書き・てのひら書き）
７　点字筆記
８　指点字
９　その他（具体体に：　　）
１０　特にない

問２４　初めて会う人（手話や指文字、点字などを知らない人）の言いたいことを、おひとりでどの程度、理解することができますか。

１　まったく理解できない
２　あまり理解できない
３　どちらともいえない
４　かなり理解できる
５　すべて理解できる

問２５　遠隔地にいる方に対して連絡をとるコミュニケーション方法をお答えください。

１　電話
２　ＦＡＸ
３　電子メール
４　特にない

別紙１

問２６　あなたはおおむねこの一年（　　年　月　日～　　年　　月　　日）の間にどの程度、他者と会話しましたか。

１　毎日
２　１週間に５～６日程度
３　１週間に３～４日程度
４　１週間に１～２日程度
５　２週間に１～２日程度
６　１ヶ月に１～２日程度
７　ほとんど会話していない
８　まったく会話していない

問２７　あなたはおおむねこの一年（　　年　月　日～　　年　　月　　日）の間に、次にあげる方と、どの程度会話しましたか。

１よく会話する　２ときどき会話する　３まったく会話しない　で答える

１）家族・親族
２）友人
３）近隣住民（隣人・店員など）
４）ボランティア
５）職場の同僚・上司
６）ガイドヘルパー
７）ホームヘルパー
８）手話通訳者・要約筆記者
９）盲ろう者通訳介助員
１０）通所・入所施設の職員
１１）盲ろう者の集まりの仲間
１２）１１）以外の障害者の集まりの仲間
１３）障害者団体関係者
１４）福祉機関関係者
１５）医療関係者
１６）教育機関関係者
１７）民生委員・児童委員
１８）その他（　　）

別紙１

３　生活の状況

（１）外出

問２８　他者や盲導犬などの支援を受けずに、おひとりでどの程度、移動することができますか。

１　自宅内の移動ができない
２　自宅内の移動はできる
３　自宅周辺の歩行はできる
４　最寄りのバス停や駅まで外出できる
５　バスや電車の交通機関を利用して知っている所に外出できる
６　バスや電車の交通機関を利用して知らない所に外出できる

問２９　必要な支援を受けた場合には、どの程度、移動することができますか。

１　自宅内の移動ができない
２　自宅内の移動はできる
３　自宅周辺の歩行はできる
４　最寄りのバス停や駅まで外出できる
５　バスや電車の交通機関を利用して知っている所に外出できる
６　バスや電車の交通機関を利用して知らない所に外出できる
支援の内容（自由記載）

問３０　おおむねこの１年（　　年　月　日～　　年　月　日）の間に、どの程度、外出をしましたか。

１　毎日
２　１週間に５～６日程度
３　１週間に３～４日程度
４　１週間に１～２日程度
５　２週間に１～２日程度
６　１ヶ月に１～２日程度
７　ほとんど外出していない
８　まったく外出していない

問３１　おおむねこの１年（　　年　月　日～　　年　月　日）の間に、どの程度、次にあげる目的で外出をしましたか。

１よくある　２ときどきある　３まったくない で答える

１）通勤・通学
２）通所（施設やデイサービスなど）
３）通院（病院や診療所など）
４）金融機関（銀行・郵便局など）
５）買い物
６）公的機関（役所、福祉事務所など）

７）盲ろう者団体の会合・行事への参加
８）７）以外の団体の会合・行事への参加
９）飲食、旅行、スポーツなどの余暇活動
１０）別居の家族・親族、友人、知人に会う
１１）その他（　　）

問３２　あなたはおおむねこの１年（　　年　月　日～　　年　月　日）の間に、次にあげる方と、どの程度、一緒に外出をしましたか
１よく外出する　２ときどき外出する　３まったく外出しない　で答える

１）家族・親族
２）友人
３）近隣住民（隣人・店員など）
４）ボランティア
５）職場の同僚・上司
６）ガイドヘルパー
７）ホームヘルパー
８）手話通訳者・要約筆記者
９）盲ろう者通訳介助員
１０）通所・入所施設の職員
１１）盲ろう者の集まりの仲間
１２）１１）以外の障害者の集まりの仲間
１３）障害者団体関係者
１４）福祉機関関係者
１５）医療関係者
１６）教育機関関係者
１７）民生委員・児童委員
１８）その他（　　）

問３３　外出の際には白杖を利用していますか。

１　している
２　していない

（２）同居者

問３４　誰と一緒に暮らしていますか。

１　夫婦で暮らしている
２　親と暮らしている
３　子と暮らしている
４　兄弟姉妹と暮らしている
５　その他の人と暮らしている（具体に：　　）
６　一人で暮らしている

別紙１

問３５　同居者とのコミュニケーション方法をお答えください。

１　音声
２　手話
３　触手話
４　弱視手話
５　指文字（ローマ字式・日本語式）
６　文字（筆談・空書き・てのひら書き）
７　点字筆記
８　指点字
９　その他（具体体に：　　）
１０　コミュニケーションはとれない

４　情報入手方法

問３６　文章を読むときに使うことのできる方法を全てお答えください。

１　文字・活字（拡大したものを含む）
２　点字
３　その他（具体的に：　　）
４　特になし

問３７　他者の支援を受けずに、おひとりでどの程度、ご自身の関心のあるニュースなどの情報を得ることができますか。

１　まったく得ることができない
２　あまり得ることができない
３　どちらともいえない
４　かなり得ることができる
５　すべて得ることができる

問３８　おおむねこの１年（　　年　月　日～　　年　月　日）の間に、どの程度、ご自分の関心あるニュースなどの情報を得ましたか。

１　毎日
２　１週間に５～６日程度
３　１週間に３～４日程度
４　１週間に１～２日程度
５　２週間に１～２日程度
６　１ヶ月に１～２日程度
７　ほとんど情報を得ていない
８　まったく情報を得ていない

別紙１

問３９　おおむねこの１年（　　年　月　日～　　年　月　日）の間に、次にあげるところから、どの程度、ご自分の関心のあるニュースなどの情報を得ていますか。　１よく情報を得る　２ときどき情報を得る　３まったく情報を得ない で答える

１）一般図書・新聞・雑誌
２）録音図書・点字図書
３）インターネット（ホームページ・電子メール等）
４）ファックス
５）テレビ（一般放送）
６）手話放送・字幕放送
７）ラジオ
８）自治体広報
９）その他（　　）

５　災害時の避難について

問４０　災害時に支援をしてくれる人はいますか。

１　いる（具体的には：　　）
２　いない

問４１　お近くの避難所の場所や避難経路を知っていますか。

１　避難所も避難経路も知っている
２　避難所は知っているが避難経路は確認していない
３　避難所も避難経路も知らない

問４２　あなたが行っている災害への備えをすべてお答えください。

１　家具の転倒防止
２　食糧・飲料などの備蓄
３　非常用持ち出しバックの準備
４　家族同士の安否確認方法を決める
５　その他（具体的に：　　）

問４３　過去の災害で困ったことをお答えください。

問４４　あなたが、災害に対してもっている具体的な不安をお答えください。

６　福祉サービスの認知状況・利用状況・不利用の理由

問４５　あなたは日常生活を送るうえで、人的支援による福祉サービスを利用していますか。

盲ろう者向け通訳介助員派遣、手話通訳者・要約筆記者派遣、視覚障害者向け移動支援・同行援護、ホームヘルパー派遣、その他福祉サービス（サービス名：　）について

１　毎日
２　１週間に５～６日程度

３　１週間に３～４日程度
４　１週間に１～２日程度
５　２週間に１～２日程度
６　１ヶ月に１～２日程度
７　ほとんど利用していない
８　まったく利用していない

問４６　人的支援による福祉サービスを利用していない理由について、あてはまるものすべてをお答えください。
１　福祉サービスがあることを知らなかった
２　移動やコミュニケーションのことは自分でできるから
３　家族がサポートしてくれるから
４　福祉サービスの利用の仕方がよくわからない
５　サービスを利用するまでの手続きが面倒だから
６　その他（具体的に：　　）

問４７　あなたは日常生活を送るうえで、今後、人的支援による福祉サービスの利用を希望しますか。
盲ろう者向け通訳介助員派遣、手話通訳者・要約筆記者派遣、視覚障害者向け移動支援・同行援護、ホームヘルパー派遣、その他福祉サービス（サービス名：　）について
１　毎日
２　１週間に５～６日程度
３　１週間に３～４日程度
４　１週間に１～２日程度
５　２週間に１～２日程度
６　１ヶ月に１～２日程度
７　ほとんど利用していない
８　まったく利用していない

問４８　介護保険によるサービスを利用していますか。
１　利用している（問４８－１に進む）
２　利用していない

問４８－１　要支援・要介護度はいくつですか
要支援１・要支援２　　要介護１・要介護２・要介護３・要介護４・要介護５

問４９　あなたは行政から補装具や日常生活用具の支給・給付を受けていますか。
１　支給・給付を受けている（問４９－１に進む）
２　支給・給付を受けていない

別紙１

問４９－１　支給・給付を受けているすべてお答えください。

１　盲人用安全つえ（白杖）
２　義眼
３　眼鏡（矯正眼鏡・遮光眼鏡・コンタクトレンズ・弱視眼鏡）
４　電磁調理器
５　盲人用体温計
６　盲人用体重計
７　盲人用時計
８　点字ディスプレイ
９　点字器
１０　点字タイプライター
１１　視覚障害者用拡大読書器
１２　視覚障害者用ポータブルレコーダー（プレクストーク）
１３　視覚障害者用活字読み上げ装置
（文字を音声に変えて知らせる機器）
１４　歩行時間延長信号機用小型送信機
（歩行者用信号の時間を延長する機器）
１５　補聴器
１６　聴覚障害者用屋内信号装置
（物音や光を振動に変えて知らせる機器）
１７　聴覚障害者用通信装置（ファックス）
１８　聴覚障害者用情報受診装置（ＣＳ放送受信機「アイドラゴン」）
１９　その他（用具名：　　）

問５０　ヘルプカードを知っていますか。

１　すでに利用している　　２　知っている　　３　知らない

問５１　利用を希望するサービスを全てお答えください。

１　自分のコミュニケーション方法の訓練
２　自分以外の人（家族・友人など）のコミュニケーション方法の訓練
３　同じ障害のある人と交流できる場
４　創作活動やリクリエーションができる場
５　常時支援を受けながら生活を送ることのできる場
６　その他（具体的に：　　）

問５２　あなたが生活をしている中で困っていること、不安に思っていること、必要だと感じる支援があればお答えください。

問５３　盲ろう者関係団体からの案内の送付を希望しますか。

１　希望する
２　希望しない

第２部　結果の概要

第１章　調査対象者と調査協力者

１．調査対象者の居住区

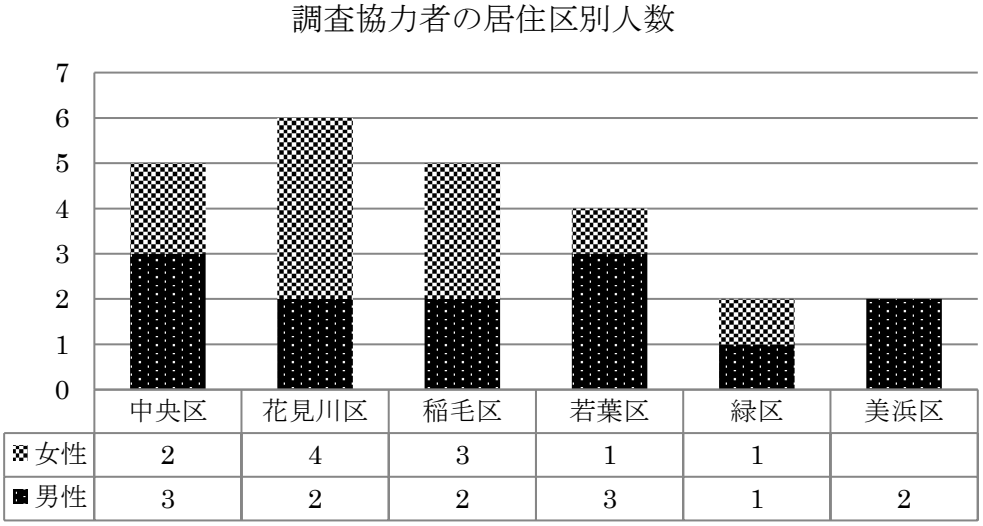
表：調査対象者の居住区

住所	値	調査対象者	返答なし	希望せず	転居者	死亡者	その他	総計
中央区	回答者数	5	4	2				11
	構成比	20.83%	44.44%	28.57%	0.00%	0.00%	0.00%	23.40%
花見川区	回答者数	6	1					7
	構成比	25.00%	11.11%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	14.89%
稲毛区	回答者数	5		1		2		8
	構成比	20.83%	0.00%	14.29%	0.00%	66.67%	0.00%	17.02%
若葉区	回答者数	4	2	2	1			9
	構成比	16.67%	22.22%	28.57%	50.00%	0.00%	0.00%	19.15%
緑区	回答者数	2	1	2	1	1		7
	構成比	8.33%	11.11%	28.57%	50.00%	33.33%	0.00%	14.89%
美浜区	回答者数	2	1					3
	構成比	8.33%	11.11%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	6.38%
その他	回答者数						2	2
	構成比	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.0%	4.26%
全体の 回答者数		24	9	7	2	3	2	47
全体の 構成比		51.06%	19.15%	14.89%	4.26%	6.38%	4.26%	100.0%

※その他・・・千葉市の手帳を所持しているが市外に在住している者。

２．調査協力者の居住区

表：調査協力者の居住区



第２章　調査協力者の基本的属性

１．年齢、性別

※年齢層は１０代から９０代と幅広く、８０代が６名と４分の１を占める。

※２４名の内、男性１３名（５４％)、女性１１名（４６％）で男性がやや多い。

◆年齢階級と性別

表：年齢階級と性別

		男性	女性	総計
10歳代	回答者数	1		1
	構成比	100.0%	0.0%	
20歳代	回答者数	3	2	5
	構成比	60.0%	40.0%	
30歳代	回答者数		2	2
	構成比	0.0%	100.0%	
40歳代	回答者数	1		1
	構成比	100.0%	0.0%	
50歳代	回答者数	1		1
	構成比	100.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	1	1	2
	構成比	50.0%	50.0%	
70歳代	回答者数	1	2	3
	構成比	33.3%	66.7%	
80歳代	回答者数	3	3	6
	構成比	50.0%	50.0%	
90歳以上	回答者数	2	1	3
	構成比	66.7%	33.3%	
全体の 回答者数		13	11	24
全体の 構成比		54.2%	45.8%	100.0%

２．視聴覚障害組み合わせ（等級）

◆視覚障害等級と聴覚障害等級

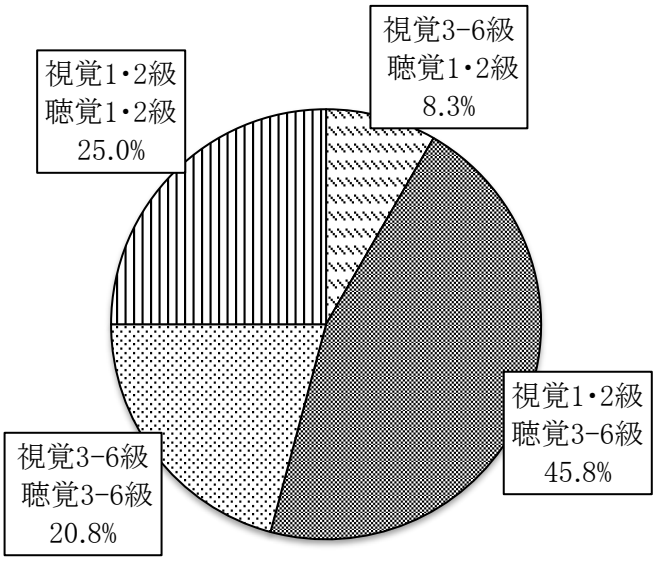
表：視覚障害等級と聴覚障害等級

		聴覚1級	聴覚2級	聴覚3級	聴覚4級	聴覚6級	総計
視覚1級	回答者数	1	2	1	1	1	6
	構成比	16.7%	33.3%	16.7%	16.7%	16.7%	
視覚2級	回答者数		3		6	2	11
	構成比	0.0%	27.3%	0.0%	54.5%	18.2%	
視覚4級	回答者数					1	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
視覚5級	回答者数		2		1		3
	構成比	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	
視覚6級	回答者数				1	2	3
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	
全体の 回答者数		1	7	1	9	6	24
全体の 構成比		4.2%	29.2%	4.2%	37.5%	25.0%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ（等級）

図表：視聴覚障害組み合わせ（等級）

	人数	構成比
視覚 3-6 級 聴覚 1･2 級	2	8.3%
視覚 1･2 級 聴覚 3-6 級	11	45.8%
視覚 3-6 級 聴覚 3-6 級	5	20.8%
視覚 1･2 級 聴覚 1･2 級	6	25.0%
合 計	24	100.0%



３．視聴覚障害組み合わせ（状態・程度）

◆視力の状態と聴覚の状態

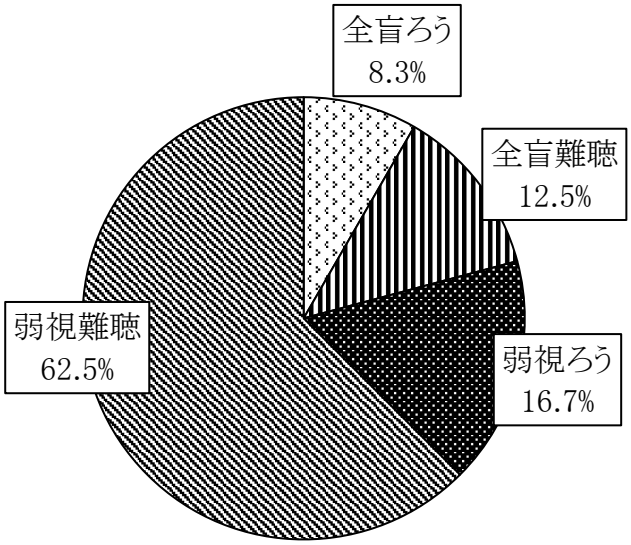
表：視力の状態と聴覚の状態

		話し声をまったく聞き取れない	耳元で大きな話し声なら聞き取れる	少し離れても大きな話し声なら聞き取れる	少し離れても普通の大きさの話し声を聞き取れる	総計
光も感じない	回答者数	1			1	2
	構成比	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
電灯等の明るい光は見える	回答者数	1		1	1	3
	構成比	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	
目の前で手を動かせばわかる	回答者数	2	1	1		4
	構成比	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	
目の前に出された指の本数が数えられる	回答者数			2	1	3
	構成比	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	
大きな文字（新聞の見出しなど）を読める	回答者数	2	4	1	1	8
	構成比	25.0%	50.0%	12.5%	12.5%	
小さな文字（新聞の記事など）を読める	回答者数		2	1	1	4
	構成比	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	
全体の 回答者数		6	7	6	5	24
全体の 構成比		25.0%	29.2%	25.0%	20.8%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ（状態）

図表： 視覚障害組み合わせ（状態）（注 1）

	人数	構成比
全盲ろう	2	8.3%
全盲難聴	3	12.5%
弱視ろう	4	16.7%
弱視難聴	15	62.5%
合　計	24	100.0%



（注 1）視聴覚障害の組み合わせについては、「視力の状態」と「聴覚の状態」を、以下のように定義をして、組み合わせたものである。

・全盲：「光も感じない」～「電灯等の明るい光は見える」
・弱視：「目の前で手を動かせば分かる」～「小さな文字を読める」
・ろう：「話し声をまったく聞き取れない」
・難聴：「耳元で大きな話し声なら聞き取れる」～「少し離れても普通の大きさの声を聞き取れる」

４．視聴覚障害の受障経緯

◆視覚障害受障時期と聴覚障害受障時期

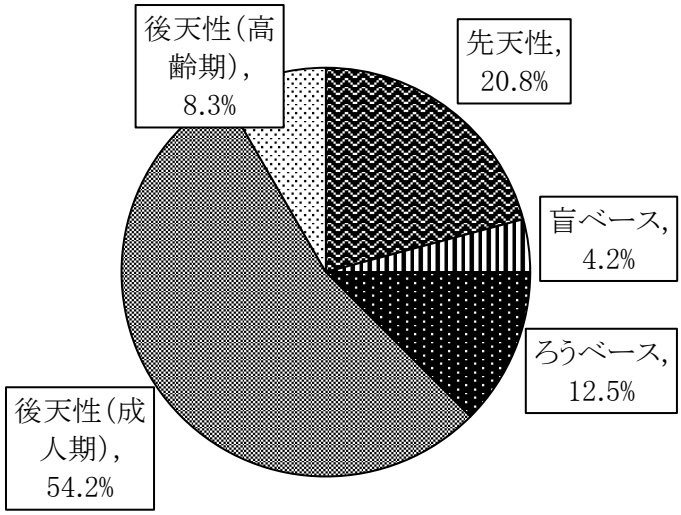
図表：視覚障害受障時期と聴覚障害受障時期

			聴覚障害受障時期							
			10歳未満	10歳代	30歳代	40歳代	60歳代	70歳代	80歳代	総計
視覚障害受障時期	10歳未満	回答者数	6				2			8
		構成比	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	
	10歳代	回答者数	4	1						5
		構成比	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	20歳代	回答者数			1					1
		構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	30歳代	回答者数	1		1				1	3
		構成比	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	
	50歳代	回答者数					2	1		3
		構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	
	60歳代	回答者数		1						1
		構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	70歳代	回答者数				1				1
		構成比	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	80歳代	回答者数						1	1	2
		構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	
	全体の 回答者数		11	2	2	1	4	2	2	24
	全体の 構成比		45.8%	8.3%	8.3%	4.2%	16.7%	8.3%	8.3%	100.0%

◆視聴覚障害経緯

図表：視覚障害経緯（５分類）（注 1）

	人数	構成比
先天性	5	20.8%
盲ベース	1	4.2%
ろうベース	3	12.5%
後天性(成人期)	13	54.2%
後天性(高齢期)	2	8.3%
総計	24	100.0%



（注 1）視聴覚障害の受障経緯の組み合わせについては、「視覚障害受障時期」と「聴覚障害受障時期」を以下のように組み合わせ、操作的に定義したものである。

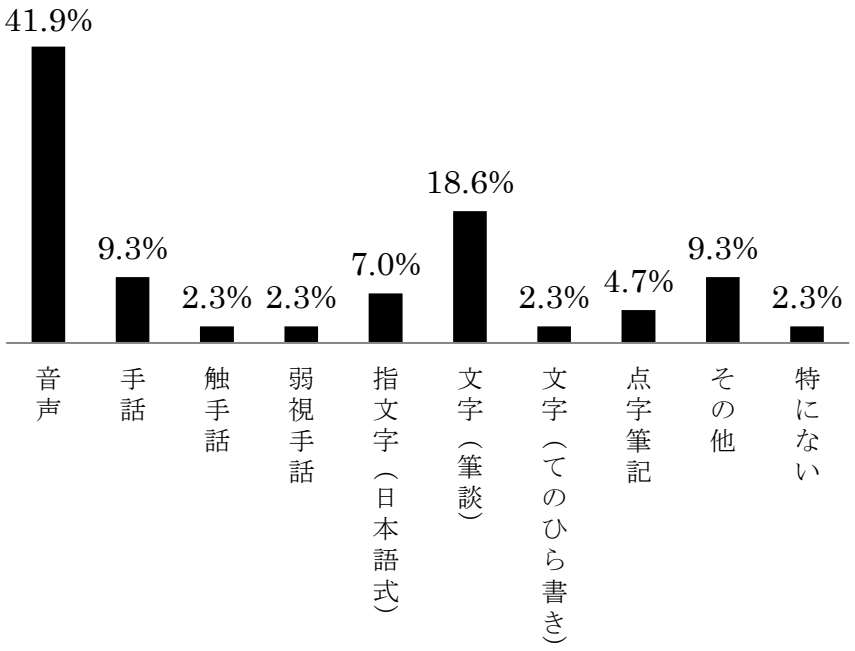
・先天性：視覚・聴覚とも４歳未満で受障
・盲ベース：視覚は４歳未満、聴覚は４歳以後に受障
・ろうベース：聴覚は４歳未満、視覚は４歳以後に受障
・後天性（成人期）：視覚・聴覚とも４歳以後、６５歳未満で受障
・後天性（高齢期）：視覚・聴覚とも６５歳以後に受障

５．可能および最も円滑な発信コミュニケーション方法

◆可能な発信コミュニケーション方法

図表：可能な発信コミュニケーション方法

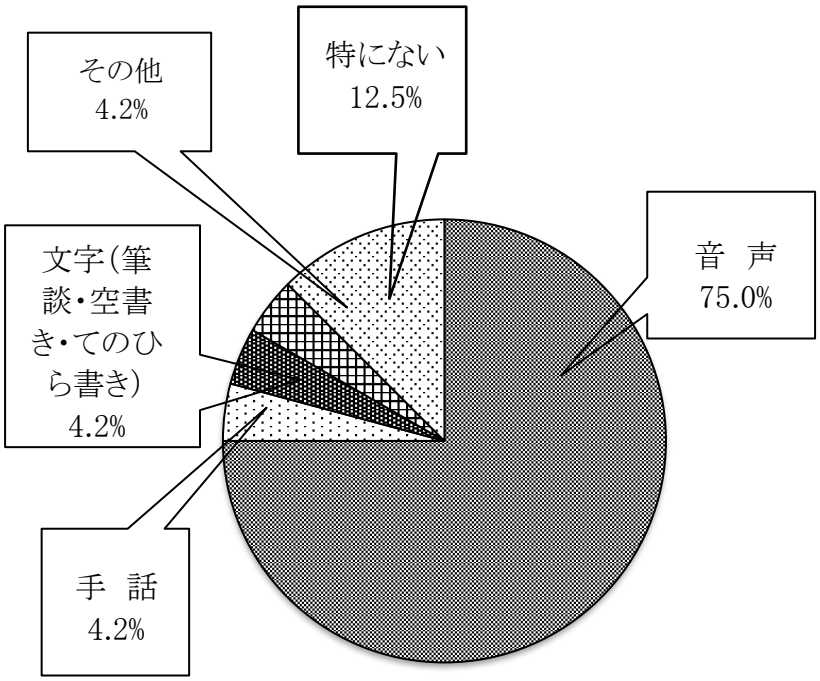
	人数	構成比
音声	18	41.9%
手話	4	9.3%
触手話	1	2.3%
弱視手話	1	2.3%
指文字(ローマ字式)	0	0.0%
指文字(日本語式)	3	7.0%
文字(筆談)	8	18.6%
文字(空書き)	0	0.0%
文字(てのひら書き)	1	2.3%
点字筆記	2	4.7%
指点字	0	0.0%
その他	4	9.3%
特にない	1	2.3%



◆最も円滑な発信コミュニケーション方法

図表：最も円滑な発信コミュニケーション方法

	人数	構成比
音声	18	75.0%
手話	1	4.2%
文字(筆談・空書き・てのひら書き)	1	4.2%
その他	1	4.2%
特にない	3	12.5%
合　計	24	100.0%

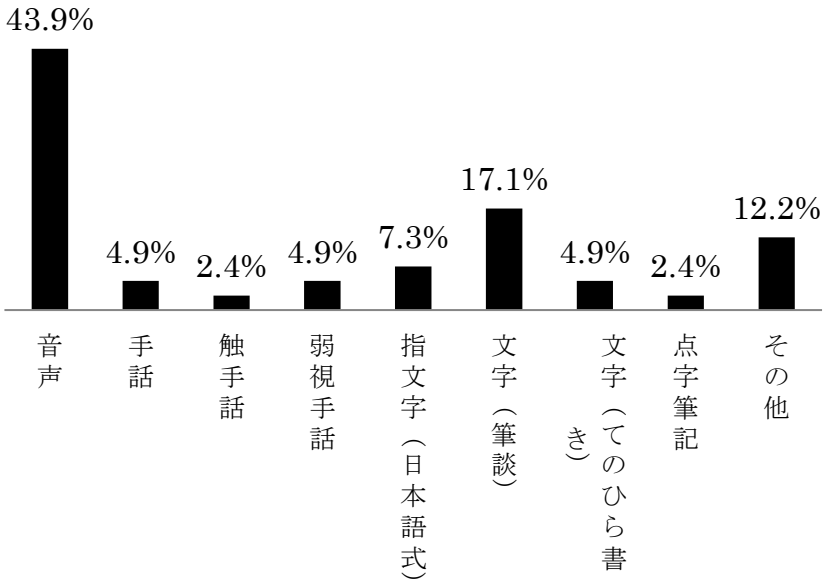


６．可能および最も円滑な受信コミュニケーション方法

◆可能な受信コミュニケーション方法

図表：可能な受信コミュニケーション方法

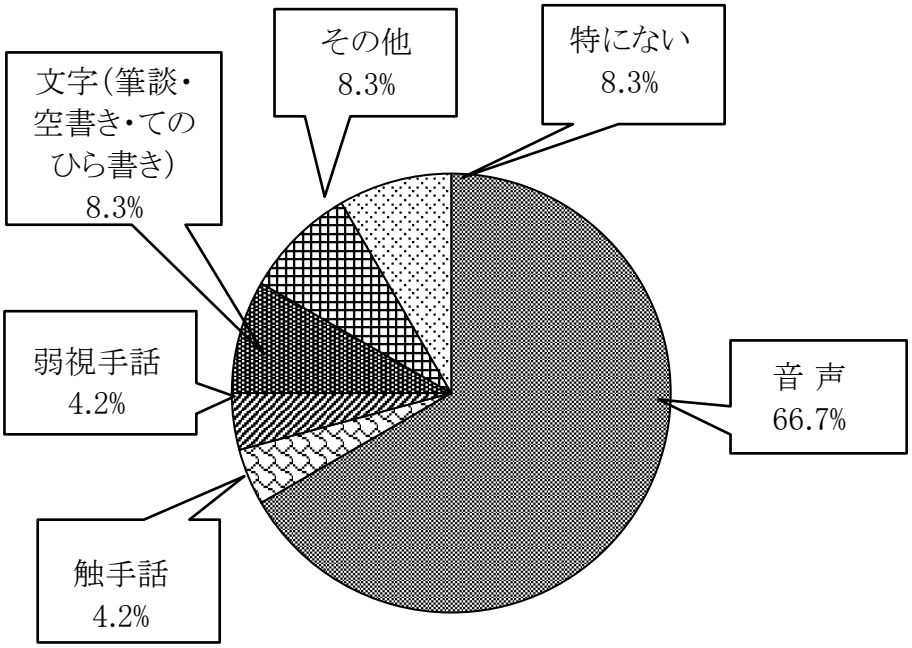
	人数	構成比
音声	18	43.9%
手話	2	4.9%
触手話	1	2.4%
弱視手話	2	4.9%
指文字(ローマ字式)	0	0.0%
指文字(日本語式)	3	7.3%
文字(筆談)	7	17.1%
文字(空書き)	0	0.0%
文字(てのひら書き)	2	4.9%
点字筆記	1	2.4%
指点字	0	0.0%
その他	5	12.2%
特にない	0	0.0%



◆最も円滑な受信コミュニケーション方法

図表：最も円滑な受信コミュニケーション方法

	人数	構成比
音声	16	66.7%
触手話	1	4.2%
弱視手話	1	4.2%
文字(筆談・空書き・てのひら書き)	2	8.3%
その他	2	8.3%
特にない	2	8.3%
総計	24	100.0%



第３章　調査項目

１．本人の属性

（１）基本項目

問１　氏名
問２　年齢　　Ｐ１６参照
問３　性別　　Ｐ１６参照

（２）住まい

問４　住まい

◆年齢階級と住まい

表：年齢階級と住まい

年齢階級	値	持家一軒家	持家マンション等	賃貸住宅マンション等	公営住宅（県営・市営）	入所型施設	総計
10歳代	回答者数	1					1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
20歳代	回答者数	1		1	1	2	5
	構成比	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	40.0%	
30歳代	回答者数	1			1		2
	構成比	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
40歳代	回答者数		1				1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	回答者数	1					1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	1	1				2
	構成比	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
70歳代	回答者数	2	1				3
	構成比	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
80歳代	回答者数	3		1	1	1	6
	構成比	50.0%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	
90歳以上	回答者数	1		1		1	3
	構成比	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	
全体の 回答者数		11	3	3	3	4	24
全体の 構成比		45.8%	12.5%	12.5%	12.5%	16.7%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ（等級）と住まい

表：視聴覚障害組み合わせ（等級）と住まい

視聴覚障害組み合わせ	値	持家一軒家	持家マンション等	賃貸住宅マンション等	公営住宅（県営・市営）	入所型施設	総計
視覚1･2級 聴覚1･2級	回答者数	2	2			2	6
	構成比	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	
視覚1･2級 聴覚3-6級	回答者数	6	1		3	1	11
	構成比	54.5%	9.1%	0.0%	27.3%	9.1%	
視覚3-6級 聴覚1･2級	回答者数	1		1			2
	構成比	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
視覚3-6級 聴覚3-6級	回答者数	2		2		1	5
	構成比	40.0%	0.0%	40.0%	0.0%	20.0%	
全体の 回答者数		11	3	3	3	4	24
全体の 構成比		45.8%	12.5%	12.5%	12.5%	16.7%	100.0%

◆視聴覚障害経緯（５分類）と住まい

表：視聴覚障害経緯（５分類）と住まい

視聴覚障害の受障経緯の組み合わせ	値	持家一軒家	持家マンション等	賃貸住宅マンション等	公営住宅（県営・市営）	入所型施設	総計
先天性	回答者数	2			1	2	5
	構成比	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	
盲ベース	回答者数	1					1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数		2	1			3
	構成比	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	
後天性(成人期)	回答者数	7	1	1	2	2	13
	構成比	53.8%	7.7%	7.7%	15.4%	15.4%	
後天性(高齢期)	回答者数	1		1			2
	構成比	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
全体の 回答者数		11	3	3	3	4	24
全体の 構成比		45.8%	12.5%	12.5%	12.5%	16.7%	100.0%

（３）障害の状況

問５　視覚障害の発障年齢

※先天性も含め１０歳未満から１０歳代の発症が３３．３％と多いが、５０歳代から８０歳代までの発症も２９．１％である。

◆年齢階級と視覚障害の発障年齢

表：年齢階級と視覚障害の発障年齢

年齢階級	値	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	総計
10歳代	回答者数	1								1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
20歳代	回答者数	4	1							5
	構成比	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
30歳代	回答者数	1	1							2
	構成比	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	回答者数		1							1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	回答者数			1						1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	1	1							2
	構成比	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
70歳代	回答者数				1	1	1			3
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	
80歳代	回答者数	1			2	2		1		6
	構成比	16.7%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	
90歳以上	回答者数		1						2	3
	構成比	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	
全体の 回答者数		8	5	1	3	3	1	1	2	24
全体の 構成比		33.3%	20.8%	4.2%	12.5%	12.5%	4.2%	4.2%	8.3%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ（等級）と視覚障害の発障年齢

表：視聴覚障害組み合わせ（等級）と視覚障害の発障年齢

視聴覚障害組み合わせ	値	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	総計
視覚1･2級 聴覚1･2級	回答者数	4	2							6
	構成比	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚1･2級 聴覚3-6級	回答者数	3	1	1	3	3				11
	構成比	27.3%	9.1%	9.1%	27.3%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚3-6級 聴覚1･2級	回答者数		1				1			2
	構成比	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
視覚3-6級 聴覚3-6級	回答者数	1	1					1	2	5
	構成比	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	
全体の 回答者数		8	5	1	3	3	1	1	2	24
全体の 構成比		33.3%	20.8%	4.2%	12.5%	12.5%	4.2%	4.2%	8.3%	100.0%

◆視聴覚障害経緯（５分類）と視覚障害の発障年齢

表：視聴覚障害経緯（５分類）と視覚障害の発障年齢

視聴覚障害の受障経緯の組み合わせ	値	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	総計
先天性	回答者数	5								5
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
盲ベース	回答者数	1								1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数		3							3
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
後天性(成人期)	回答者数	2	2	1	3	3	1	1		13
	構成比	15.4%	15.4%	7.7%	23.1%	23.1%	7.7%	7.7%	0.0%	
後天性(高齢期)	回答者数								2	2
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
全体の 回答者数		8	5	1	3	3	1	1	2	24
全体の 構成比		33.3%	20.8%	4.2%	12.5%	12.5%	4.2%	4.2%	8.3%	100.0%

問６　視覚障害の進行

※進行している人が６２．５％で、その内６０歳代から９０歳以上では４１．６％である。

◆年齢階級と視覚障害の進行

表：年齢階級と視覚障害の進行

年齢階級	値	かなり進行している	やや進行している	進行していない	総計
10歳代	回答者数			1	1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	
20歳代	回答者数		2	3	5
	構成比	0.0%	40.0%	60.0%	
30歳代	回答者数	1		1	2
	構成比	50.0%	0.0%	50.0%	
40歳代	回答者数	1			1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	回答者数	1			1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	2			2
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	
70歳代	回答者数		2	1	3
	構成比	0.0%	66.7%	33.3%	
80歳代	回答者数	2	3	1	6
	構成比	33.3%	50.0%	16.7%	
90歳以上	回答者数	1		2	3
	構成比	33.3%	0.0%	66.7%	
全体の 回答者数		8	7	9	24
全体の 構成比		33.3%	29.2%	37.5%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ（等級）と視覚障害の進行

表：視聴覚障害組み合わせ（等級）と視覚障害の進行

視聴覚障害組み合わせ	値	かなり進行している	やや進行している	進行していない	総計
視覚1･2級 聴覚1･2級	回答者数	2		4	6
	構成比	33.3%	0.0%	66.7%	
視覚1･2級 聴覚3-6級	回答者数	5	3	3	11
	構成比	45.5%	27.3%	27.3%	
視覚3-6級 聴覚1･2級	回答者数		2		2
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	
視覚3-6級 聴覚3-6級	回答者数	1	2	2	5
	構成比	20.0%	40.0%	40.0%	
全体の 回答者数		8	7	9	24
全体の 構成比		33.3%	29.2%	37.5%	100.0%

◆視聴覚障害経緯（５分類）と視覚障害の進行

表：視聴覚障害経緯（５分類）と視覚障害の進行

視聴覚障害の受障経緯の組み合わせ	値	かなり進行している	やや進行している	進行していない	総計
先天性	回答者数		1	4	5
	構成比	0.0%	20.0%	80.0%	
盲ベース	回答者数	1			1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	2	1		3
	構成比	66.7%	33.3%	0.0%	
後天性(成人期)	回答者数	5	5	3	13
	構成比	38.5%	38.5%	23.1%	
後天性(高齢期)	回答者数			2	2
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	
全体の 回答者数		8	7	9	24
全体の 構成比		33.3%	29.2%	37.5%	100.0%

問７　視力の状態

※５０％は文字からの情報取得が可能である。

◆年齢階級と視力の状態

表：年齢階級と視力の状態

年齢階級	値	光も感じない	電灯等の明るい光は見える	目の前で手を動かせば分かる	目の前に出された指の本数が数えられる	大きな文字（新聞の見出しなど）を読める	小さな文字（新聞の記事など）を読める	総計
10歳代	回答者数			1				1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
20歳代	回答者数	2	1	1		1		5
	構成比	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	
30歳代	回答者数					1	1	2
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	
40歳代	回答者数		1					1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	回答者数					1		1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
60歳代	回答者数				2			2
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
70歳代	回答者数		1			2		3
	構成比	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	
80歳代	回答者数			1	1	3	1	6
	構成比	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	50.0%	16.7%	
90歳以上	回答者数			1			2	3
	構成比	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	
全体の 回答者数		2	3	4	3	8	4	24
全体の 構成比		8.3%	12.5%	16.7%	12.5%	33.3%	16.7%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ（等級）と視力の状態

表：視聴覚障害組み合わせ（等級）と視力の状態

視聴覚障害組み合わせ	値	光も感じない	電灯等の明るい光は見える	目の前で手を動かせば分かる	目の前に出された指の本数が数えられる	大きな文字（新聞の見出しなど）を読める	小さな文字（新聞の記事など）を読める	総計
視覚1･2級 聴覚1･2級	回答者数	1	1	2	1		1	6
	構成比	16.7%	16.7%	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%	
視覚1･2級 聴覚3-6級	回答者数	1	2	1	2	5		11
	構成比	9.1%	18.2%	9.1%	18.2%	45.5%	0.0%	
視覚3-6級 聴覚1･2級	回答者数					2		2
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
視覚3-6級 聴覚3-6級	回答者数			1		1	3	5
	構成比	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	60.0%	
全体の 回答者数		2	3	4	3	8	4	24
全体の 構成比		8.3%	12.5%	16.7%	12.5%	33.3%	16.7%	100.0%

◆視聴覚障害経緯（５分類）と視力の状態

表：視聴覚障害経緯（５分類）と視力の状態

視聴覚障害の受障経緯の組み合わせ	値	光も感じない	電灯等の明るい光は見える	目の前で手を動かせば分かる	目の前に出された指の本数が数えられる	大きな文字（新聞の見出しなど）を読める	小さな文字（新聞の記事など）を読める	総計
先天性	回答者数	2	1	2				5
	構成比	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
盲ベース	回答者数				1			1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数		1		1	1		3
	構成比	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	
後天性(成人期)	回答者数		1	2	1	7	2	13
	構成比	0.0%	7.7%	15.4%	7.7%	53.8%	15.4%	
後天性(高齢期)	回答者数						2	2
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
全体の 回答者数		2	3	4	3	8	4	24
全体の 構成比		8.3%	12.5%	16.7%	12.5%	33.3%	16.7%	100.0%

問７－1　視野の状態

	件数	構成比
視野に障害はない	3	12.5%
中心が見えにくい	2	8.3%
周辺が見えにくい	7	29.2%
その他	12	50.0%
総計	**24**	**100.0%**

※その他の回答

・右は視力無し
・右目は失明
・下のほうが見えない
・近くなら多少わかる
・視力はゼロだが、下からの光に反応（特に赤系）
・右目の上部の視野欠損
・未熟児網膜症

問８　視覚障害等級

※１級と２級が全体の７０．８％にあたる。

◆年齢階級と視覚障害等級

表：年齢階級と視覚障害等級

年齢階級	値	視覚1級	視覚2級	視覚4級	視覚5級	視覚6級	総計
10歳代	回答者数	1					1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
20歳代	回答者数	4			1		5
	構成比	80.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	
30歳代	回答者数		2				2
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	回答者数		1				1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	回答者数		1				1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
60歳代	回答者数		2				2
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
70歳代	回答者数		2		1		3
	構成比	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	
80歳代	回答者数	1	3	1		1	6
	構成比	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	16.7%	
90歳以上	回答者数				1	2	3
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	
全体の 回答者数		6	11	1	3	3	24
全体の 構成比		25.0%	45.8%	4.2%	12.5%	12.5%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ（等級）と視覚障害等級

表：視聴覚障害組み合わせ（等級）と視覚障害等級

視聴覚障害 組み合わせ	値	視覚1級	視覚2級	視覚4級	視覚5級	視覚6級	総計
視覚1･2級 聴覚1･2級	回答者数	3	3				6
	構成比	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚1･2級 聴覚3-6級	回答者数	3	8				11
	構成比	27.3%	72.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚3-6級 聴覚1･2級	回答者数				2		2
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
視覚3-6級 聴覚3-6級	回答者数			1	1	3	5
	構成比	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	60.0%	
全体の 回答者数		6	11	1	3	3	24
全体の 構成比		25.0%	45.8%	4.2%	12.5%	12.5%	100.0%

◆視聴覚障害経緯（５分類）と視覚障害等級

表：視聴覚障害経緯（５分類）と視覚障害等級

視聴覚障害の受障経緯の組み合わせ	値	視覚1級	視覚2級	視覚4級	視覚5級	視覚6級	総計
先天性	回答者数	5					5
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
盲ベース	回答者数		1				1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数		2		1		3
	構成比	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	
後天性(成人期)	回答者数	1	8	1	2	1	13
	構成比	7.7%	61.5%	7.7%	15.4%	7.7%	
後天性(高齢期)	回答者数					2	2
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
全体の 回答者数		6	11	1	3	3	24
全体の 構成比		25.0%	45.8%	4.2%	12.5%	12.5%	100.0%

問９　聴覚障害の発障年齢

◆年齢階級と聴覚障害の発障年齢

表：年齢階級と聴覚障害の発障年齢

年齢階級	値	10歳未満	10歳代	30歳代	40歳代	60歳代	70歳代	80歳代	総計
10歳代	回答者数	1							1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
20歳代	回答者数	5							5
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
30歳代	回答者数	1	1						2
	構成比	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	回答者数	1							1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	回答者数			1					1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	1				1			2
	構成比	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
70歳代	回答者数	1	1			1			3
	構成比	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	
80歳代	回答者数			1	1	2	1	1	6
	構成比	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	33.3%	16.7%	16.7%	
90歳以上	回答者数	1					1	1	3
	構成比	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	
全体の 回答者数		11	2	2	1	4	2	2	24
全体の 構成比		45.8%	8.3%	8.3%	4.2%	16.7%	8.3%	8.3%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ（等級）と聴覚障害の発障年齢

表：視聴覚障害組み合わせ（等級）と聴覚障害の発障年齢

視聴覚障害組み合わせ	値	10歳未満	10歳代	30歳代	40歳代	60歳代	70歳代	80歳代	総計
視覚1･2級 聴覚1･2級	回答者数	6							6
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚1･2級 聴覚3-6級	回答者数	3	1	2		3	1	1	11
	構成比	27.3%	9.1%	18.2%	0.0%	27.3%	9.1%	9.1%	
視覚3-6級 聴覚1･2級	回答者数	1	1						2
	構成比	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚3-6級 聴覚3-6級	回答者数	1			1	1	1	1	5
	構成比	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	
全体の 回答者数		11	2	2	1	4	2	2	24
全体の 構成比		45.8%	8.3%	8.3%	4.2%	16.7%	8.3%	8.3%	100.0%

◆視聴覚障害経緯（５分類）と聴覚障害の発障年齢

表：視聴覚障害経緯（５分類）と聴覚障害の発障年齢

視聴覚障害の受障経緯の組み合わせ	値	10歳未満	10歳代	30歳代	40歳代	60歳代	70歳代	80歳代	総計
先天性	回答者数	5							5
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
盲ベース	回答者数					1			1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	3							3
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
後天性(成人期)	回答者数	3	2	2	1	3	1	1	13
	構成比	23.1%	15.4%	15.4%	7.7%	23.1%	7.7%	7.7%	
後天性(高齢期)	回答者数						1	1	2
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	
全体の 回答者数		11	2	2	1	4	2	2	24
全体の 構成比		45.8%	8.3%	8.3%	4.2%	16.7%	8.3%	8.3%	100.0%

問１０　聴覚障害の進行。

◆年齢階級と聴覚障害の進行

表：年齢階級と聴覚障害の進行

年齢階級	値	かなり進行している	やや進行している	進行していない	総計
10歳代	回答者数			1	1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	
20歳代	回答者数		1	4	5
	構成比	0.0%	20.0%	80.0%	
30歳代	回答者数		2		2
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	
40歳代	回答者数			1	1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	
50歳代	回答者数	1			1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	1	1		2
	構成比	50.0%	50.0%	0.0%	
70歳代	回答者数		1	2	3
	構成比	0.0%	33.3%	66.7%	
80歳代	回答者数	1	3	2	6
	構成比	16.7%	50.0%	33.3%	
90歳以上	回答者数	1	1	1	3
	構成比	33.3%	33.3%	33.3%	
全体の 回答者数		4	9	11	24
全体の 構成比		16.7%	37.5%	45.8%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ（等級）と聴覚障害の進行

表：視聴覚障害組み合わせ（等級）と聴覚障害の進行

視聴覚障害組み合わせ	値	かなり進行している	やや進行している	進行していない	総計
視覚1･2級 聴覚1･2級	回答者数	1	1	4	6
	構成比	16.7%	16.7%	66.7%	
視覚1･2級 聴覚3-6級	回答者数	2	5	4	11
	構成比	18.2%	45.5%	36.4%	
視覚3-6級 聴覚1･2級	回答者数		1	1	2
	構成比	0.0%	50.0%	50.0%	
視覚3-6級 聴覚3-6級	回答者数	1	2	2	5
	構成比	20.0%	40.0%	40.0%	
全体の 回答者数		4	9	11	24
全体の 構成比		16.7%	37.5%	45.8%	100.0%

◆視聴覚障害経緯（５分類）と聴覚障害の進行

表：聴覚障害経緯（５分類）と聴覚障害の進行

視聴覚障害の受障経緯の組み合わせ	値	かなり進行している	やや進行している	進行していない	総計
先天性	回答者数		1	4	5
	構成比	0.0%	20.0%	80.0%	
盲ベース	回答者数		1		1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	1		2	3
	構成比	33.3%	0.0%	66.7%	
後天性(成人期)	回答者数	3	6	4	13
	構成比	23.1%	46.2%	30.8%	
後天性(高齢期)	回答者数		1	1	2
	構成比	0.0%	50.0%	50.0%	
全体の 回答者数		4	9	11	24
全体の 構成比		16.7%	37.5%	45.8%	100.0%

問１１　聴力の状態

※声の大きさや距離にもよるが７５%の人が聞き取れている。

◆年齢階級と聴力の状態

表：年齢階級と聴力の状態

年齢階級	値	全く聞き取れない	耳元で大きな声なら聞き取れる	少し離れて大きな声なら聞き取れる	少し離れて普通の大きさの声を聞き取れる	総計
10歳代	回答者数	1				1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
20歳代	回答者数	3			2	5
	構成比	60.0%	0.0%	0.0%	40.0%	
30歳代	回答者数		2			2
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	回答者数	1				1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	回答者数			1		1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
60歳代	回答者数			2		2
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
70歳代	回答者数	1	1	1		3
	構成比	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	
80歳代	回答者数		2	1	3	6
	構成比	0.0%	33.3%	16.7%	50.0%	
90歳以上	回答者数		2	1		3
	構成比	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	
全体の 回答者数		6	7	6	5	24
全体の 構成比		25.0%	29.2%	25.0%	20.8%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ（等級）と聴力の状態

表：視聴覚障害組み合わせ（等級）と聴力の状態

視聴覚障害組み合わせ	値	全く聞き取れない	耳元で大きな声なら聞き取れる	少し離れて大きな声なら聞き取れる	少し離れて普通の大きさの声を聞き取れる	総計
視覚1･2級 聴覚1･2級	回答者数	4	1	1		6
	構成比	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%	
視覚1･2級 聴覚3-6級	回答者数		3	4	4	11
	構成比	0.0%	27.3%	36.4%	36.4%	
視覚3-6級 聴覚1･2級	回答者数	2				2
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚3-6級 聴覚3-6級	回答者数		3	1	1	5
	構成比	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%	
全体の 回答者数		6	7	6	5	24
全体の 構成比		25.0%	29.2%	25.0%	20.8%	100.0%

◆視聴覚障害経緯（５分類）と聴力の状態

表：視聴覚障害経緯（５分類）と聴力の状態

視聴覚障害の受障経緯の組み合わせ	値	全く聞き取れない	耳元で大きな声なら聞き取れる	少し離れて大きな声なら聞き取れる	少し離れて普通の大きさの声を聞き取れる	総計
先天性	回答者数	3			2	5
	構成比	60.0%	0.0%	0.0%	40.0%	
盲ベース	回答者数			1		1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	2		1		3
	構成比	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	
後天性(成人期)	回答者数	1	6	3	3	13
	構成比	7.7%	46.2%	23.1%	23.1%	
後天性(高齢期)	回答者数		1	1		2
	構成比	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	
全体の 回答者数		6	7	6	5	24
全体の 構成比		25.0%	29.2%	25.0%	20.8%	100.0%

問１２　聴覚障害等級

※聴覚障害の４級が３７．５％と多く、その内６０歳代から９０歳以上が２９．１％である。

◆年齢階級と聴覚障害等級

表：年齢階級と聴覚障害等級

年齢階級	値	聴覚1級	聴覚2級	聴覚3級	聴覚4級	聴覚6級	総計
10歳代	回答者数	1					1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
20歳代	回答者数		3	1	1		5
	構成比	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	
30歳代	回答者数		1		1		2
	構成比	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
40歳代	回答者数		1				1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	回答者数					1	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
60歳代	回答者数		1		1		2
	構成比	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
70歳代	回答者数		1		2		3
	構成比	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	
80歳代	回答者数				2	4	6
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	
90歳以上	回答者数				2	1	3
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	
全体の 回答者数		1	7	1	9	6	24
全体の 構成比		4.2%	29.2%	4.2%	37.5%	25.0%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ（等級）と聴覚障害等級

表：視聴覚障害組み合わせ（等級）と聴覚障害等級

視聴覚障害 組み合わせ	値	聴覚1級	聴覚2級	聴覚3級	聴覚4級	聴覚6級	総計
視覚1･2級 聴覚1･2級	回答者数	1	5				6
	構成比	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚1･2級 聴覚3-6級	回答者数			1	7	3	11
	構成比	0.0%	0.0%	9.1%	63.6%	27.3%	
視覚3-6級 聴覚1･2級	回答者数		2				2
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚3-6級 聴覚3-6級	回答者数				2	3	5
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	60.0%	
全体の 回答者数		1	7	1	9	6	24
全体の 構成比		4.2%	29.2%	4.2%	37.5%	25.0%	100.0%

◆視聴覚障害経緯（５分類）と聴覚障害等級

表：視聴覚障害経緯（５分類）と聴覚障害等級

視聴覚障害の受障経緯の組み合わせ	値	聴覚1級	聴覚2級	聴覚3級	聴覚4級	聴覚6級	総計
先天性	回答者数	1	2	1	1		5
	構成比	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	
盲ベース	回答者数				1		1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数		3				3
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
後天性(成人期)	回答者数		2		6	5	13
	構成比	0.0%	15.4%	0.0%	46.2%	38.5%	
後天性(高齢期)	回答者数				1	1	2
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	
全体の 回答者数		1	7	1	9	6	24
全体の 構成比		4.2%	29.2%	4.2%	37.5%	25.0%	100.0%

問１３　視覚・聴覚以外の障害の有無

◆年齢階級と視覚・聴覚以外の障害の有無

表：年齢階級と視覚・聴覚以外の障害の有無

年齢階級	値	ある	ない	総計
10歳代	回答者数	1		1
	構成比	100.0%	0.0%	
20歳代	回答者数	4	1	5
	構成比	80.0%	20.0%	
30歳代	回答者数	1	1	2
	構成比	50.0%	50.0%	
40歳代	回答者数	1		1
	構成比	100.0%	0.0%	
50歳代	回答者数		1	1
	構成比	0.0%	100.0%	
60歳代	回答者数	1	1	2
	構成比	50.0%	50.0%	
70歳代	回答者数	3		3
	構成比	100.0%	0.0%	
80歳代	回答者数	1	5	6
	構成比	16.7%	83.3%	
90歳以上	回答者数		3	3
	構成比	0.0%	100.0%	
全体の 回答者数		12	12	24
全体の 構成比		50.0%	50.0%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ（等級）と視覚・聴覚以外の障害の有無

表：視聴覚障害組み合わせ（等級）と視覚・聴覚以外の障害の有無

視聴覚障害組み合わせ	値	ある	ない	総計
視覚1･2級 聴覚1･2級	回答者数	4	2	6
	構成比	66.7%	33.3%	
視覚1･2級 聴覚3-6級	回答者数	7	4	11
	構成比	63.6%	36.4%	
視覚3-6級 聴覚1･2級	回答者数	1	1	2
	構成比	50.0%	50.0%	
視覚3-6級 聴覚3-6級	回答者数		5	5
	構成比	0.0%	100.0%	
全体の 回答者数		12	12	24
全体の 構成比		50.0%	50.0%	100.0%

◆視聴覚障害経緯（５分類）と視覚・聴覚以外の障害の有無

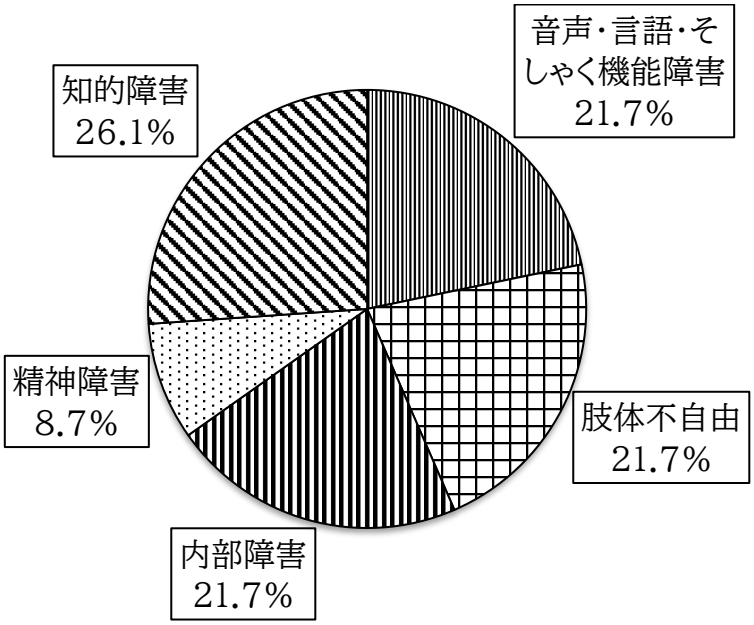
表：視聴覚障害経緯（５分類）と視覚・聴覚以外の障害の有無

視聴覚障害経緯の組み合わせ	値	ある	ない	総計
先天性	回答者数	5		5
	構成比	100.0%	0.0%	
盲ベース	回答者数	1		1
	構成比	100.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	1	2	3
	構成比	33.3%	66.7%	
後天性(成人期)	回答者数	5	8	13
	構成比	38.5%	61.5%	
後天性(高齢期)	回答者数		2	2
	構成比	0.00%	100.00%	
全体の 回答者数		12	12	24
全体の 構成比		50.00%	50.00%	100.00%

問１３－1　視覚・聴覚以外の障害の種類と等級

図表：視覚・聴覚以外の障害の種類と等級

その他の障害	構成比	人数	等級
音声･言語･そしゃく機能障害	21.7%	5	1級 1, 3級 1, 不明 3
平衡機能障害	0.0%	0	
肢体不自由	21.7%	5	1級 4, 4級 1
内部障害	21.7%	5	1級 2, 4級 1, 不明 2
精神障害	8.7%	2	1級 1, 不明 1
知的障害	26.1%	6	A-1 1, A-2 1, B-1 1、不明 3



問１４　障害者手帳の総合等級

※１級と２級を合わせて全体の７９．２％である。

◆年齢階級と障害者手帳の総合等級

表：年齢階級と障害者手帳の総合等級

年齢階級	値	1級	2級	4級	5級	総　計
10歳代	回答者数	1				1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
20歳代	回答者数	5				5
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
30歳代	回答者数	2				2
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	回答者数	1				1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	回答者数		1			1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	1	1			2
	構成比	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
70歳代	回答者数	2	1			3
	構成比	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	
80歳代	回答者数	1	3	1	1	6
	構成比	16.7%	50.0%	16.7%	16.7%	
90歳以上	回答者数			2	1	3
	構成比	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	
全体の 回答者数		13	6	3	2	24
全体の 構成比		54.2%	25.0%	12.5%	8.3%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ（等級）と障害者手帳の総合等級

表：視聴覚障害組み合わせ（等級）と障害者手帳の総合等級

視聴覚障害 組み合わせ	値	1級	2級	4級	5級	総　計
視覚1･2級 聴覚1･2級	回答者数	6				6
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚1･2級 聴覚3-6級	回答者数	6	5			11
	構成比	54.5%	45.5%	0.0%	0.0%	
視覚3-6級 聴覚1･2級	回答者数	1	1			2
	構成比	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
視覚3-6級 聴覚3-6級	回答者数			3	2	5
	構成比	0.0%	0.0%	60.0%	40.0%	
全体の 回答者数		13	6	3	2	24
全体の 構成比		54.2%	25.0%	12.5%	8.3%	100.0%

◆視聴覚障害経緯（５分類）と障害者手帳の総合等級

表：視聴覚障害経緯（５分類）と障害者手帳の総合等級

視聴覚障害の受障経緯の組み合わせ	値	1級	2級	4級	5級	総計
先天性	回答者数	5				5
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
盲ベース	回答者数		1			1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	3				3
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
後天性(成人期)	回答者数	5	5	2	1	13
	構成比	38.5%	38.5%	15.4%	7.7%	
後天性(高齢期)	回答者数			1	1	2
	構成比	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	
全体の 回答者数		13	6	3	2	24
全体の 構成比		54.2%	25.0%	12.5%	8.3%	100.0%

問１５　障害支援区分認定

◆年齢階級と障害支援区分認定

表：年齢階級と障害支援区分認定

年齢階級	値	認定を受けている	申請をしていない	総計
10歳代	回答者数	1		1
	構成比	100.0%	0.0%	
20歳代	回答者数	4	1	5
	構成比	80.0%	20.0%	
30歳代	回答者数	1	1	2
	構成比	50.0%	50.0%	
40歳代	回答者数	1		1
	構成比	100.0%	0.0%	
50歳代	回答者数		1	1
	構成比	0.0%	100.0%	
60歳代	回答者数	1	1	2
	構成比	50.0%	50.0%	
70歳代	回答者数		3	3
	構成比	0.0%	100.0%	
80歳代	回答者数		6	6
	構成比	0.0%	100.0%	
90歳以上	回答者数		3	3
	構成比	0.0%	100.0%	
全体の 回答者数		8	16	24
全体の 構成比		33.3%	66.7%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ（等級）と障害支援区分認定

表：視聴覚障害組み合わせ（等級）と障害支援区分認定

視聴覚障害組み合わせ	値	認定を受けている	申請をしていない	総計
視覚1･2級 聴覚1･2級	回答者数	4	2	6
	構成比	66.7%	33.3%	
視覚1･2級 聴覚3-6級	回答者数	4	7	11
	構成比	36.4%	63.6%	
視覚3-6級 聴覚1･2級	回答者数		2	2
	構成比	0.0%	100.0%	
視覚3-6級 聴覚3-6級	回答者数		5	5
	構成比	0.0%	100.0%	
全体の 回答者数		8	16	24
全体の 構成比		33.3%	66.7%	100.0%

◆視聴覚障害経緯（５分類）と障害支援区分認定

表：視聴覚障害経緯（５分類）と障害支援区分認定

視聴覚障害の受障経緯の組み合わせ	値	認定を受けている	申請をしていない	総計
先天性	回答者数	5		5
	構成比	100.0%	0.0%	
盲ベース	回答者数	1		1
	構成比	100.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	1	2	3
	構成比	33.3%	66.7%	
後天性(成人期)	回答者数	1	12	13
	構成比	7.7%	92.3%	
後天性(高齢期)	回答者数		2	2
	構成比	0.0%	100.0%	
全体の 回答者数		8	16	24
全体の 構成比		33.3%	66.7%	100.0%

問１５－1　障害支援区分

	件数	構成比
3 級	2	25.0%
5 級	1	12.5%
6 級	4	50.0%
無回答	1	12.5%
総計	**8**	**100.0%**

（４）　職業等

問１６　就業

	件数	構成比
就業している	2	8.3%
通学している	1	4.2%
いずれもしていない	21	87.5%
総計	24	100.0%

※コメント

近くに障害者が働ける場がなく、市外まで通勤している。

働きたいのに働く場が少ない。

問１６－1－（１）　就業の形態

	件数	構成比
契約社員	1	50.0%
派遣社員	1	50.0%
	2	100.0%

問１６－1－（２）　就労時間

	件数	構成比
8時間	1	50.0%
30時間	1	50.0%
総計	2	100.0%

問１６－1－（３）　就労先での勤務内容

	件数	構成比
農園で野菜作り	1	50.0%
就労支援A型雇用契約あり	1	50.0%
総計	2	100.0%

問１６－1－（４）　勤続年数

	件数	構成比
2年	2	100.0%
総計	2	100.0%

問１６－２　通学している学校の種類

	件数	構成比
特別支援学校	1	1
総計	1	100.0%

問１７　通勤(通学)介助の要不要

	件数	構成比
介助を受けずに一人で通勤(通学)できる	2	66.7%
介助が必要	1	33.3%
総計	3	100.0%

問１８　通勤(通学)の方法

	件数	構成比
公共交通機関(電車)	2	66.7%
その他	1	33.3%
総計	3	100.0%
※1名が複数回答		

※１名は　電車とバスを乗り継ぎ。

※その他の回答

　療養センター職員による車椅子移動での通学。

２．コミュニケーション方法

問１９　可能な発信コミュニケーション方法

複数回答

◆年齢階級と可能な発信コミュニケーション方法

表：年齢階級と可能な発信コミュニケーション方法

年齢階級	音声	手話	触手話	弱視手話	指文字（ロ）	指文字（日）	文字（筆談）	文字（空書）	文字（手）	点字筆記	指点字	その他	特にない
10歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
20歳代	1	1	0	0	0	0	2	0	0	1	0	3	1
30歳代	2	1	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0
40歳代	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
50歳代	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
60歳代	2	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0
70歳代	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
80歳代	6	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
90歳以上	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	18	4	1	1	0	3	8	0	1	2	0	4	1

◆視聴覚障害組み合わせ（等級）と可能な発信コミュニケーション方法

表：視聴覚障害組み合わせ（等級）と可能な発信コミュニケーション方法

視聴覚障害組み合わせ	音声	手話	触手話	弱視手話	指文字（ロ）	指文字（日）	文字（筆談）	文字（空書）	文字（手）	点字筆記	指点字	その他	特にない
視覚1･2級 聴覚1･2級	2	2	1		0	2	2	0	1	1	0	2	1
視覚1･2級 聴覚3-6級	10	1		1	0	1	4	0		1	0	1	
視覚3-6級 聴覚1･2級	1	1			0		2	0			0	1	
視覚3-6級 聴覚3-6級	5				0			0			0		
総計	18	4	1	1	0	3	8	0	1	2	0	4	1

◆視聴覚障害経緯（５分類）と可能な発信コミュニケーション方法

表：視聴覚障害経緯（５分類）と可能な発信コミュニケーション方法

視聴覚障害経緯（５分類）の組み合わせ	音声	手話	触手話	弱視手話	指文字（ロ）	指文字（日）	文字（筆談）	文字（空書）	文字（手）	点字筆記	指点字	その他	特にない
先天性	1	0	0	0	0	0	1	5	0	1	5	3	1
盲ベース	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
ろうベース	1	3	1	0	0	2	2	3	1	1	3	1	0
後天性(成人期)	13	1	0	1	0	1	5	13	0	0	13	0	0
後天性(高齢期)	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0
総計	18	4	1	1	0	3	8	0	1	2	0	4	1

※その他の回答

携帯電話の文字入力

身振り

キュードスピーチ（注 1）

（注 1）話し言葉を視覚化するツール

顔面近くの４カ所で８種類の手の形を使い、口の動きが持つ情報を補うもの。

問２０　最も円滑な発信コミュニケーション方法

◆年齢階級と最も円滑な発信コミュニケーション方法

表：年齢階級と最も円滑な発信コミュニケーション方法

年齢階級	値	音声	手話	文字（筆談等）	その他	特にない	総計
10歳代	回答者数					1	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
20歳代	回答者数	1		1	1	2	5
	構成比	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	40.0%	
30歳代	回答者数	2					2
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	回答者数		1				1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	回答者数	1					1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	2					2
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
70歳代	回答者数	3					3
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
80歳代	回答者数	6					6
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
90歳以上	回答者数	3					3
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の 回答者数		18	1	1	1	3	24
全体の 構成比		75.0%	4.2%	4.2%	4.2%	12.5%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ（等級）と最も円滑な発信コミュニケーション方法

表：視聴覚障害組み合わせ（等級）と最も円滑な発信コミュニケーション方法

視聴覚障害組み合わせ	値	音声	手話	文字（筆談等）	その他	特にない	総計
視覚1･2級 聴覚1･2級	回答者数	2	1			3	6
	構成比	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	50.0%	
視覚1･2級 聴覚3-6級	回答者数	10			1		11
	構成比	90.9%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	
視覚3-6級 聴覚1･2級	回答者数	1		1			2
	構成比	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
視覚3-6級 聴覚3-6級	回答者数	5					5
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の 回答者数		18	1	1	1	3	24
全体の 構成比		75.0%	4.2%	4.2%	4.2%	12.5%	100.0%

◆視聴覚障害経緯（５分類）と最も円滑な発信コミュニケーション方法

表：視聴覚障害経緯（５分類）と最も円滑な発信コミュニケーション方法

視聴覚障害の受障経緯の組み合わせ	値	音声	手話	文字（筆談等）	その他	特にない	総計
先天性	回答者数	1			1	3	5
	構成比	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	60.0%	
盲ベース	回答者数	1					1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	1	1	1			3
	構成比	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	
後天性(成人期)	回答者数	13					13
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
後天性(高齢期)	回答者数	2					2
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の 回答者数		18	1	1	1	3	24
全体の 構成比		75.0%	4.2%	4.2%	4.2%	12.5%	100.0%

※その他の回答

携帯電話の文字入力

問２１　独力での発信能力

※６６．７％は自分の言いたいことを伝えられる。

◆年齢階級と独力での発信能力

表：年齢階級と独力での発信能力

年齢階級	値	まったく伝えられない	あまり伝えられない	どちらともいえない	かなり伝えられる	すべて伝えられる	総計
10歳代	回答者数	1					1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
20歳代	回答者数	3	1		1		5
	構成比	60.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	
30歳代	回答者数		1			1	2
	構成比	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
40歳代	回答者数			1			1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	回答者数				1		1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
60歳代	回答者数			1	1		2
	構成比	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	
70歳代	回答者数				3		3
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
80歳代	回答者数					6	6
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
90歳以上	回答者数				3		3
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
全体の 回答者数		4	2	2	9	7	24
全体の 構成比		16.7%	8.3%	8.3%	37.5%	29.2%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ（等級）と独力での発信能力

表：視聴覚障害組み合わせ（等級）と独力での発信能力

視聴覚障害組み合わせ	値	まったく伝えられない	あまり伝えられない	どちらともいえない	かなり伝えられる	すべて伝えられる	総計
視覚1･2級 聴覚1･2級	回答者数	2	1	1	1	1	6
	構成比	33.3%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	
視覚1･2級 聴覚3-6級	回答者数	1	1	1	4	4	11
	構成比	9.1%	9.1%	9.1%	36.4%	36.4%	
視覚3-6級 聴覚1･2級	回答者数	1			1		2
	構成比	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
視覚3-6級 聴覚3-6級	回答者数				3	2	5
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	40.0%	
全体の 回答者数		4	2	2	9	7	24
全体の 構成比		16.7%	8.3%	8.3%	37.5%	29.2%	100.0%

◆視聴覚障害経緯（５分類）と独力での発信能力

表：視聴覚障害経緯（５分類）と独力での発信能力

視聴覚障害の受障経緯の組み合わせ	値	まったく伝えられない	あまり伝えられない	どちらともいえない	かなり伝えられる	すべて伝えられる	総計
先天性	回答者数	3	1		1		5
	構成比	60.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	
盲ベース	回答者数			1			1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	1		1	1		3
	構成比	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	
後天性(成人期)	回答者数		1		5	7	13
	構成比	0.0%	7.7%	0.0%	38.5%	53.8%	
後天性(高齢期)	回答者数				2		2
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
全体の 回答者数		4	2	2	9	7	24
全体の 構成比		16.7%	8.3%	8.3%	37.5%	29.2%	100.0%

問２２　可能な受信コミュニケーション方法

複数回答

◆年齢階級と可能な受信コミュニケーション方法

表：年齢階級と可能な受信コミュニケーション方法

年齢階級	音声	手話	触手話	弱視手話	指文字（ロ）	指文字（日）	文字（筆談）	文字（空書）	文字（手）	点字筆記	指点字	その他	特にない
10歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
20歳代	2	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3	0
30歳代	2	1	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0
40歳代	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
50歳代	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60歳代	2	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0
70歳代	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0
80歳代	6	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
90歳以上	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	18	2	1	2	0	3	7	0	2	1	0	5	0

◆視聴覚障害組み合わせ（等級）と可能な受信コミュニケーション方法

表：視聴覚障害組み合わせ（等級）と可能な受信コミュニケーション方法

視聴覚障害組み合わせ	音声	手話	触手話	弱視手話	指文字（ロ）	指文字（日）	文字（筆談）	文字（空書）	文字（手）	点字筆記	指点字	その他	特にない
視覚1･2級 聴覚1･2級	2	0	1	0	0	2	1	0	2	1	0	3	0
視覚1･2級 聴覚3-6級	11	1	0	1	0	1	3	0	0	0	0	1	0
視覚3-6級 聴覚1･2級	0	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	1	0
視覚3-6級 聴覚3-6級	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
総計	18	2	1	2	0	3	7	0	2	1	0	5	0

◆視聴覚障害経緯（５分類）と可能な受信コミュニケーション方法

表：視聴覚障害経緯（５分類）と可能な受信コミュニケーション方法

視聴覚障害経緯の組み合わせ	音声	手話	触手話	弱視手話	指文字（ロ）	指文字（日）	文字（筆談）	文字（空書）	文字（手）	点字筆記	指点字	その他	特にない
先天性	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0
盲ベース	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ろうベース	1	1	1	0	0	2	1	0	2	1	0	1	0
後天性(成人期)	12	1	0	2	0	1	5	0	0	0	0	1	0
後天性(高齢期)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	18	2	1	2	0	3	7	0	2	1	0	5	0

※その他の回答

触覚を手がかりに、オブジェクトキュー（注 1）を使って理解。

視覚障害者用活字読み上げ装置を使用している人もいる。

（注 1）活動を連想させる具体物やその一部。

問２３　最も円滑な受信コミュニケーション方法

◆年齢階級と最も円滑な受信コミュニケーション方法

表：年齢階級と最も円滑な受信コミュニケーション方法

年齢階級	値	音声	触手話	弱視手話	文字（筆談）	その他	特にない	総計
10歳代	回答者数					1		1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
20歳代	回答者数	2				1	2	5
	構成比	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	
30歳代	回答者数			1	1			2
	構成比	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	回答者数		1					1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	回答者数	1						1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	2						2
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
70歳代	回答者数	2			1			3
	構成比	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	
80歳代	回答者数	6						6
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
90歳以上	回答者数	3						3
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の 回答者数		16	1	1	2	2	2	24
全体の 構成比		66.7%	4.2%	4.2%	8.3%	8.3%	8.3%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ（等級）と最も円滑な受信コミュニケーション方法

表：視聴覚障害組み合わせ（等級）と　最も円滑な受信コミュニケーション方法

視聴覚障害組み合わせ	値	音声	触手話	弱視手話	文字（筆談）	その他	特にない	総計
視覚1･2級 聴覚1･2級	回答者数	1	1		1	1	2	6
	構成比	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	33.3%	
視覚1･2級 聴覚3-6級	回答者数	10		1				11
	構成比	90.9%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚3-6級 聴覚1･2級	回答者数				1	1		2
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	
視覚3-6級 聴覚3-6級	回答者数	5						5
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の 回答者数		16	1	1	2	2	2	24
全体の 構成比		66.7%	4.2%	4.2%	8.3%	8.3%	8.3%	100.0%

◆視聴覚障害経緯（５分類）と最も円滑な受信コミュニケーション方法

表：視聴覚障害経緯（５分類）と最も円滑な受信コミュニケーション方法

視聴覚障害の受障経緯の組み合わせ	値	音声	触手話	弱視手話	文字（筆談）	その他	特にない	総計
先天性	回答者数	2				1	2	5
	構成比	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	
盲ベース	回答者数	1						1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	1	1			1		3
	構成比	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	
後天性(成人期)	回答者数	10		1	2			13
	構成比	76.9%	0.0%	7.7%	15.4%	0.0%	0.0%	
後天性(高齢期)	回答者数	2						2
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の 回答者数		16	1	1	2	2	2	24
全体の 構成比		66.7%	4.2%	4.2%	8.3%	8.3%	8.3%	100.0%

問２４　独力での受信能力

※６６．７％は理解できるが、２９．２％は独力での理解はできない。

◆年齢階級と独力での受信能力

表：年齢階級と独力での受信能力

年齢階級	値	まったく理解できない	あまり理解できない	どちらともいえない	かなり理解できる	すべて理解できる	総計
10歳代	回答者数		1				1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
20歳代	回答者数	2	1	1	1		5
	構成比	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	
30歳代	回答者数	1				1	2
	構成比	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
40歳代	回答者数	1					1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	回答者数				1		1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
60歳代	回答者数				2		2
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
70歳代	回答者数				2	1	3
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	
80歳代	回答者数				1	5	6
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	83.3%	
90歳以上	回答者数		1		2		3
	構成比	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	
全体の 回答者数		4	3	1	9	7	24
全体の 構成比		16.7%	12.5%	4.2%	37.5%	29.2%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ（等級）と独力での受信能力

表：視聴覚障害組み合わせ（等級）と独力での受信能力

視聴覚障害組み合わせ	値	まったく理解できない	あまり理解できない	どちらともいえない	かなり理解できる	すべて理解できる	総計
視覚1･2級 聴覚1･2級	回答者数	3	1		1	1	6
	構成比	50.0%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	
視覚1･2級 聴覚3-6級	回答者数	1		1	4	5	11
	構成比	9.1%	0.0%	9.1%	36.4%	45.5%	
視覚3-6級 聴覚1･2級	回答者数		1		1		2
	構成比	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
視覚3-6級 聴覚3-6級	回答者数		1		3	1	5
	構成比	0.0%	20.0%	0.0%	60.0%	20.0%	
全体の 回答者数		4	3	1	9	7	24
全体の 構成比		16.7%	12.5%	4.2%	37.5%	29.2%	100.0%

◆視聴覚障害経緯（５分類）と独力での受信能力

表：視聴覚障害経緯（５分類）と独力での受信能力

視聴覚障害の受障経緯の組み合わせ	値	まったく理解できない	あまり理解できない	どちらともいえない	かなり理解できる	すべて理解できる	総計
先天性	回答者数	2	1	1	1		5
	構成比	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	1	1		1		3
	構成比	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	
後天性(成人期)	回答者数	1			5	7	13
	構成比	7.7%	0.0%	0.0%	38.5%	53.8%	
盲ベース	回答者数				1		1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
後天性(高齢期)	回答者数		1		1		2
	構成比	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
全体の 回答者数		4	3	1	9	7	24
全体の 構成比		16.7%	12.5%	4.2%	37.5%	29.2%	100.0%

問２５　遠隔地への連絡コミュニケーション方法

複数回答

◆年齢階級と遠隔地への連絡コミュニケーション方法

表：年齢階級と遠隔地への連絡コミュニケーション方法

年齢階級	電話	FAX	電子メール	特にない
10歳代	0	0	0	1
20歳代	0	0	2	3
30歳代	0	1	2	0
40歳代	0	0	1	0
50歳代	1	0	1	0
60歳代	1	0	1	1
70歳代	2	1	1	0
80歳代	4	0	1	1
90歳以上	1	0	0	2
総計	9	2	9	8

◆視聴覚障害組み合わせ（等級）と遠隔地への連絡コミュニケーション方法

表：視聴覚障害組み合わせ（等級）と遠隔地への連絡コミュニケーション方法

視聴覚障害組み合わせ	電話	FAX	電子メール	特にない
視覚1･2級 聴覚1･2級	1	0	3	3
視覚1･2級 聴覚3-6級	6	1	3	3
視覚3-6級 聴覚1･2級	0	1	2	0
視覚3-6級 聴覚3-6級	2	0	1	2
総計	9	2	9	8

◆視聴覚障害経緯（５分類）と遠隔地への連絡コミュニケーション方法

表：視聴覚障害経緯（５分類）と遠隔地への連絡コミュニケーション方法

視聴覚障害の受障経緯の組み合わせ	電話	FAX	電子メール	特にない
先天性	0	0	0	0
盲ベース	0	0	0	0
ろうベース	1	0	3	0
後天性(高齢	1	0	0	1
後天性(成人	7	2	5	2
総計	9	2	9	8

問２６　会話頻度

◆年齢階級と会話頻度

表：年齢階級と会話頻度

年齢階級	値	毎日	1週間に5～6日程度	1週間に1～2日程度	1ヶ月に1～2日程度	ほとんど会話していない	まったく会話していない	総計
10歳代	回答者数						1	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
20歳代	回答者数	2				2	1	5
	構成比	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	
30歳代	回答者数	2						2
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	回答者数	1						1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	回答者数	1						1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	1		1				2
	構成比	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
70歳代	回答者数	2		1				3
	構成比	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
80歳代	回答者数	3		1	1	1		6
	構成比	50.0%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	
90歳以上	回答者数	2	1					3
	構成比	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の 回答者数		14	1	3	1	3	2	24
全体の 構成比		58.3%	4.2%	12.5%	4.2%	12.5%	8.3%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ（等級）会話頻度

表：視聴覚障害組み合わせ（等級）と会話頻度

視聴覚障害組み合わせ	値	毎日	1週間に5～6日程度	1週間に1～2日程度	1ヶ月に1～2日程度	ほとんど会話していない	まったく会話していない	総計
視覚1･2級 聴覚1･2級	回答者数	3				2	1	6
	構成比	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	
視覚1･2級 聴覚3-6級	回答者数	5		3	1	1	1	11
	構成比	45.5%	0.0%	27.3%	9.1%	9.1%	9.1%	
視覚3-6級 聴覚1･2級	回答者数	2						2
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚3-6級 聴覚3-6級	回答者数	4	1					5
	構成比	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の 回答者数		14	1	3	1	3	2	24
全体の 構成比		58.3%	4.2%	12.5%	4.2%	12.5%	8.3%	100.00%

◆視聴覚障害経緯（５分類）と会話頻度

表：視聴覚障害経緯（５分類）と会話頻度

視聴覚障害の受障経緯の組み合わせ	値	毎日	1週間に5～6日程度	1週間に1～2日程度	1ヶ月に1～2日程度	ほとんど会話していない	まったく会話していない	総計
先天性	回答者数	1				2	2	5
	構成比	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%	
盲ベース	回答者数			1				1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	3						3
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
後天性(成人期)	回答者数	9		2	1	1		13
	構成比	69.2%	0.0%	15.4%	7.7%	7.7%	0.0%	
後天性(高齢期)	回答者数	1	1					2
	構成比	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の 回答者数		14	1	3	1	3	2	24
全体の 構成比		58.3%	4.2%	12.5%	4.2%	12.5%	8.3%	100.0%

問２７　相手別会話頻度

	よく会話する		ときどき会話する		まったく会話しない	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
家族・親族	12	50.0%	8	33.3%	4	16.7%
友人	6	25.0%	3	12.5%	15	62.5%
近隣住民	2	8.3%	9	37.5%	13	54.2%
ボランティア	1	4.2%	1	4.2%	22	91.7%
職場の同僚・上司	2	8.3%	1	4.2%	21	87.5%
ガイドヘルパー	1	4.2%	3	12.5%	20	83.3%
ホームヘルパー	1	4.2%	1	4.2%	22	91.7%
手話通訳者・要約筆記者	0	0.0%	2	8.3%	22	91.7%
盲ろう者通訳介助員	3	12.5%	1	4.2%	20	83.3%
通所・入所施設の職員	5	20.8%	1	4.2%	18	75.0%
盲ろう者の集まりの仲間	2	8.3%	0	0.0%	22	91.7%
盲ろう者以外の障害者の集まりの仲間	2	8.3%	0	0.0%	22	91.7%
障害者団体関係者	0	0.0%	2	8.3%	22	91.7%
福祉機関関係者	0	0.0%	3	12.5%	21	87.5%
医療関係者	3	12.5%	10	41.7%	11	45.8%
教育機関関係者	0	0.0%	0	0.0%	24	100.0%
民生委員・児童委員	2	8.3%	1	4.2%	21	87.5%
その他	0	0.0%	0	0.0%	24	100.0%

３．生活の状況

（１）外出

問２８　単独移動能力

◆年齢階級と単独移動能力

表：年齢階級と単独移動能力

年齢階級	値	自宅内の移動ができない	自宅内の移動はできる	自宅周辺の歩行はできる	最寄りのバス停や駅まで外出できる	バスや電車の交通機関を利用して知っている所に外出できる	バスや電車の交通機関を利用して知らない所に外出できる	総計
10歳代	回答者数	1						1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
20歳代	回答者数	2	1			1	1	5
	構成比	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	
30歳代	回答者数		1	1				2
	構成比	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	回答者数			1				1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	回答者数						1	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
60歳代	回答者数		1		1			2
	構成比	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
70歳代	回答者数		1			2		3
	構成比	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	
80歳代	回答者数	1			1	3	1	6
	構成比	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	50.0%	16.7%	
90歳以上	回答者数	1	1			1		3
	構成比	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	
全体の 回答者数		5	5	2	2	7	3	24
全体の 構成比		20.8%	20.8%	8.3%	8.3%	29.2%	12.5%	100.0%

※コメント

外出時に転倒したため、現在は車椅子で家の中のみ。

日中は移動可能だが、夜は不安で出られない。

持病があるため、バス停まで小休止しながらの移動は可。

◆視聴覚障害組み合わせ（等級）と単独移動能力

表：視聴覚障害組み合わせ（等級）と単独移動能力

視聴覚障害組み合わせ	値	自宅内の移動ができない	自宅内の移動はできる	自宅周辺の歩行はできる	最寄りのバス停や駅まで外出できる	バスや電車の交通機関を利用して知っている所に外出できる	バスや電車の交通機関を利用して知らない所に外出できる	総計
視覚1･2級 聴覚1･2級	回答者数	3		2	1			6
	構成比	50.0%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	
視覚1･2級 聴覚3-6級	回答者数	1	4		1	4	1	11
	構成比	9.1%	36.4%	0.0%	9.1%	36.4%	9.1%	
視覚3-6級 聴覚1･2級	回答者数					1	1	2
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	
視覚3-6級 聴覚3-6級	回答者数	1	1			2	1	5
	構成比	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	
全体の 回答者数		5	5	2	2	7	3	24
全体の 構成比		20.8%	20.8%	8.3%	8.3%	29.2%	12.5%	100.0%

◆視聴覚障害経緯（５分類）と単独移動能力

表：視聴覚障害経緯（５分類）と単独移動能力

視聴覚障害の受障経緯の組み合わせ	値	自宅内の移動ができない	自宅内の移動はできる	自宅周辺の歩行はできる	最寄りのバス停や駅まで外出できる	バスや電車の交通機関を利用して知っている所に外出できる	バスや電車の交通機関を利用して知らない所に外出できる	総計
先天性	回答者数	3	1			1		5
	構成比	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	
盲ベース	回答者数		1					1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数			1	1		1	3
	構成比	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	
後天性(成人期)	回答者数	2	2	1	1	5	2	13
	構成比	15.4%	15.4%	7.7%	7.7%	38.5%	15.4%	
後天性(高齢期)	回答者数		1			1		2
	構成比	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
全体の 回答者数		5	5	2	2	7	3	24
全体の 構成比		20.8%	20.8%	8.3%	8.3%	29.2%	12.5%	100.0%

問２９　支援を受けた場合の移動能力

◆年齢階級と支援を受けた場合の移動能力

表：年齢階級と支援を受けた場合の移動能力

年齢階級	値	自宅内の移動ができない	自宅内の移動はできる	自宅周辺の歩行はできる	最寄りのバス停や駅まで外出できる	バスや電車の交通機関を利用して知っている所に外出できる	バスや電車の交通機関を利用して知らない所に外出できる	総計
10歳代	回答者数	1						1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
20歳代	回答者数	2					3	5
	構成比	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	
30歳代	回答者数				1		1	2
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	
40歳代	回答者数						1	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
50歳代	回答者数						1	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
60歳代	回答者数			1			1	2
	構成比	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
70歳代	回答者数		1				2	3
	構成比	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	
80歳代	回答者数			1		1	4	6
	構成比	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	66.7%	
90歳以上	回答者数		1	1			1	3
	構成比	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	
全体の 回答者数		3	2	3	1	1	14	24
全体の 構成比		12.50%	8.33%	12.50%	4.17%	4.17%	58.33%	100.00%

※コメント

家族、盲ろう者向け通訳・介助員、同行援護、周囲の声かけ
介護タクシー等の支援があれば移動できる。

◆視聴覚障害組み合わせ（等級）と支援を受けた場合の移動能力

表：視聴覚障害組み合わせ（等級）と支援を受けた場合の移動能力

視聴覚障害組み合わせ	値	自宅内の移動ができない	自宅内の移動はできる	自宅周辺の歩行はできる	最寄りのバス停や駅まで外出できる	バスや電車の交通機関を利用して知っている所に外出できる	バスや電車の交通機関を利用して知らない所に外出できる	総計
視覚1･2級 聴覚1･2級	回答者数	3					3	6
	構成比	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
視覚1･2級 聴覚3-6級	回答者数		1	2	1	1	6	11
	構成比	0.0%	9.1%	18.2%	9.1%	9.1%	54.5%	
視覚3-6級 聴覚1･2級	回答者数						2	2
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
視覚3-6級 聴覚3-6級	回答者数		1	1			3	5
	構成比	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	60.0%	
全体の 回答者数		3	2	3	1	1	14	24
全体の 構成比		12.5%	8.3%	12.5%	4.2%	4.2%	58.3%	100.0%

◆視聴覚障害経緯（５分類）と支援を受けた場合の移動能力

表：視聴覚障害経緯（５分類）と支援を受けた場合の移動能力

視聴覚障害の受障経緯の組み合わせ	値	自宅内の移動ができない	自宅内の移動はできる	自宅周辺の歩行はできる	最寄りのバス停や駅まで外出できる	バスや電車の交通機関を利用して知っている所に外出できる	バスや電車の交通機関を利用して知らない所に外出できる	総計
先天性	回答者数	3					2	5
	構成比	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	
盲ベース	回答者数			1				1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
後天性(成人期)	回答者数		2	1	1	1	8	13
	構成比	0.0%	15.4%	7.7%	7.7%	7.7%	61.5%	
ろうベース	回答者数						3	3
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
後天性(高齢期)	回答者数			1			1	2
	構成比	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
全体の 回答者数		3	2	3	1	1	14	24
全体の 構成比		12.5%	8.3%	12.5%	4.2%	4.2%	58.3%	100.0%

問３０　外出頻度

※全体の２０．８％はまったくかほとんど外出していない。

◆年齢階級と外出頻度

表：年齢階級と外出頻度

年齢階級	値	毎日	1週間に5～6日程度	1週間に3～4日程度	1週間に1～2日程度	2週間に1～2日程度	1ヶ月に1～2日程度	ほとんど外出していない	まったく外出していない	総計
10歳代	回答者数							1		1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
20歳代	回答者数	1	2						2	5
	構成比	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	
30歳代	回答者数			2						2
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	回答者数		1							1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	回答者数	1								1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	1			1					2
	構成比	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
70歳代	回答者数		1	1				1		3
	構成比	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	
80歳代	回答者数	1	1	1	1	1	1			6
	構成比	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	
90歳以上	回答者数		1				1	1		3
	構成比	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	
全体の 回答者数		4	6	4	2	1	2	3	2	24
全体の 構成比		16.7%	25.0%	16.7%	8.3%	4.2%	8.3%	12.5%	8.3%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ（等級）と外出頻度

表：視聴覚障害組み合わせ（等級）と外出頻度

視聴覚障害組み合わせ	値	毎日	1週間に5～6日程度	1週間に3～4日程度	1週間に1～2日程度	2週間に1～2日程度	1ヶ月に1～2日程度	ほとんど外出していない	まったく外出していない	総計
視覚1･2級 聴覚1･2級	回答者数	1	1	1				1	2	6
	構成比	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	
視覚1･2級 聴覚3-6級	回答者数	3	2	3	2		1			11
	構成比	27.3%	18.2%	27.3%	18.2%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	
視覚3-6級 聴覚1･2級	回答者数		1					1		2
	構成比	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
視覚3-6級 聴覚3-6級	回答者数		2			1	1	1		5
	構成比	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	
全体の 回答者数		4	6	4	2	1	2	3	2	24
全体の 構成比		16.7%	25.0%	16.7%	8.3%	4.2%	8.3%	12.5%	8.3%	100.0%

◆視聴覚障害経緯（５分類）と外出頻度

表：視聴覚障害経緯（５分類）と外出頻度

視聴覚障害の受障経緯の組み合わせ	値	毎日	1週間に5～6日程度	1週間に3～4日程度	1週間に1～2日程度	2週間に1～2日程度	1ヶ月に1～2日程度	ほとんど外出していない	まったく外出していない	総計
先天性	回答者数	1	1					1	2	5
	構成比	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	
盲ベース	回答者数				1					1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	1	2							3
	構成比	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
後天性(成人期)	回答者数	2	2	4	1	1	1	2		13
	構成比	15.4%	15.4%	30.8%	7.7%	7.7%	7.7%	15.4%	0.0%	
後天性(高齢期)	回答者数		1				1			2
	構成比	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
全体の 回答者数		4	6	4	2	1	2	3	2	24
全体の 構成比		16.7%	25.0%	16.7%	8.3%	4.2%	8.3%	12.5%	8.3%	100.0%

問３１　目的別外出頻度

※通院での外出が７９．２％、買い物での外出が７５．５％

	総数	よくある	ときどきある	まったくない
通勤・通学	24	2	1	21
		8.3%	4.2%	87.5%
通所	24	3	4	17
		12.5%	16.7%	70.8%
通院	24	3	16	5
		12.5%	66.7%	20.8%
金融機関	24	1	8	15
		4.2%	33.3%	62.5%
買い物	24	6	12	6
		25.0%	50.5%	25.5%
公的機関	24	0	8	16
		0.0%	33.3%	66.7%
盲ろう者団体の会合・行事への参加	24	2	1	21
		8.3%	4.2%	87.5%
盲ろう者以外の団体の会合・行事への参加	24	1	2	21
		4.2%	8.3%	87.5%
飲食・旅行・スポーツなどの余暇活動	24	4	5	15
		16.7%	20.8%	62.5%
別居の家族・親族・友人・知人に会う	24	0	8	16
		0.0%	33.3%	66.7%
その他	24	0	2	22
		0.0%	8.3%	91.7%

問３２　相手別外出頻度

※７５％の人が家族・親族と外出している。

	総数	よく外出する	ときどき外出する	まったく外出しない
家族・親族	24	8	10	6
		33.3%	41.7%	25.0%
友人	24	1	4	19
		4.2%	16.7%	79.2%
近隣住民	24	0	1	23
		0.0%	4.2%	95.8%
ボランティア	24	0	0	24
		0.0%	0.0%	100.0%
職場の同僚・上司	24	0	2	22
		0.0%	8.3%	91.7%
ガイドヘルパー	24	3	1	20
		12.5%	4.2%	83.3%
ホームヘルパー	24	1	1	22
		4.2%	4.2%	91.7%
手話通訳者・要約筆記者	24	0	0	24
		0.0%	0.0%	100.0%
盲ろう者通訳介助員	24	2	1	21
		8.3%	4.2%	87.5%
通所・入所施設の職員	24	0	3	21
		0.0%	12.5%	87.5%
盲ろう者の集まりの仲間	24	0	2	22
		0.0%	8.3%	91.7%
盲ろう者以外の障害者の集まりの仲間	24	0	2	22
		0.0%	8.3%	91.7%
障害者団体関係者	24	1	1	22
		4.2%	4.2%	91.7%
福祉機関関係者	24	0	1	23
		0.0%	4.2%	95.8%
医療関係者	24	0	0	24
		0.0%	0.0%	100.0%
教育機関関係者	24	0	0	24
		0.0%	0.0%	100.0%
民生委員・児童委員	24	0	0	24
		0.0%	0.0%	100.0%
その他	24	0	0	24

問３３　白杖の利用

※利用率は全体の２９．２％

	件数	構成比
利用している	7	29.2%
利用していない	17	70.8%
総計	24	100.0%

（２）同居者

問３４　同居者

※一人暮らし５名の内、７０代が２名、８０代が３名である。

◆年齢階級と同居者

表：年齢階級と同居者

年齢階級	値	夫婦で暮らしている	親と暮らしている	子と暮らしている	兄弟姉妹と暮らしている	その他の人と暮らしている	一人で暮らしている	総計
10歳代	回答者数					1		1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
20歳代	回答者数		3			2		5
	構成比	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	
30歳代	回答者数		1	1				2
	構成比	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	回答者数		1					1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	回答者数		1					1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	1			1			2
	構成比	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
70歳代	回答者数	1					2	3
	構成比	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	
80歳代	回答者数	2				1	3	6
	構成比	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	50.0%	
90歳以上	回答者数			1		2		3
	構成比	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	
全体の 回答者数		4	6	2	1	6	5	24
全体の 構成比		16.7%	25.0%	8.3%	4.2%	25.0%	20.8%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ（等級）と同居者

表：視聴覚障害組み合わせ（等級）と同居者

視聴覚障害組み合わせ	値	夫婦で暮らしている	親と暮らしている	子と暮らしている	兄弟姉妹と暮らしている	その他の人と暮らしている	一人で暮らしている	総計
視覚1･2級 聴覚1･2級	回答者数	1	2			3		6
	構成比	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
視覚1･2級 聴覚3-6級	回答者数	2	3	1	1	1	3	11
	構成比	18.2%	27.3%	9.1%	9.1%	9.1%	27.3%	
視覚3-6級 聴覚1･2級	回答者数		1				1	2
	構成比	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
視覚3-6級 聴覚3-6級	回答者数	1		1		2	1	5
	構成比	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	20.0%	
全体の 回答者数		4	6	2	1	6	5	24
全体の 構成比		16.7%	25.0%	8.3%	4.2%	25.0%	20.8%	100.0%

◆視聴覚障害経緯（５分類）と同居者

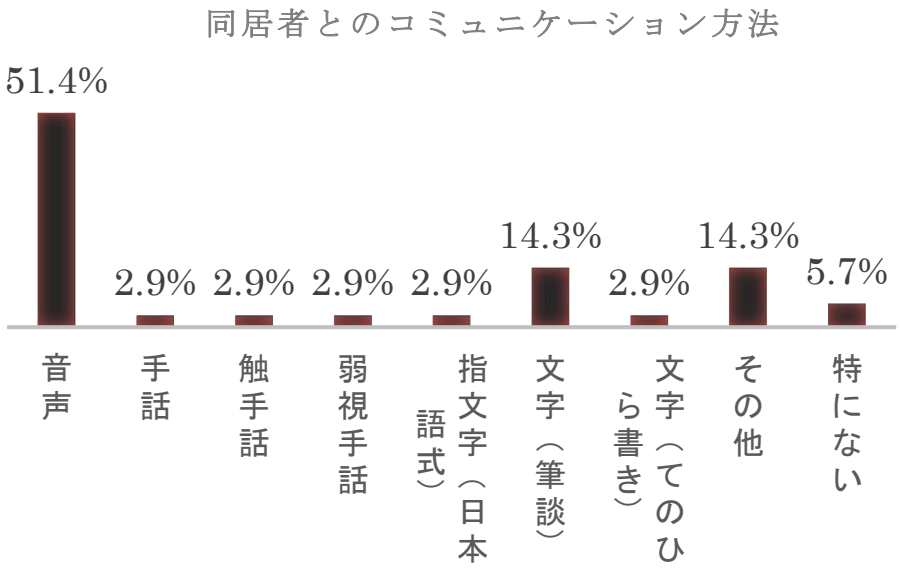
表：視聴覚障害経緯（５分類）と同居者

視聴覚障害の受障経緯の組み合わせ	値	夫婦で暮らしている	親と暮らしている	子と暮らしている	兄弟姉妹と暮らしている	その他の人と暮らしている	一人で暮らしている	総計
先天性	回答者数		2			3		5
	構成比	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%	
盲ベース	回答者数				1			1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	1	2					3
	構成比	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
後天性(成人期)	回答者数	3	2	1		2	5	13
	構成比	23.1%	15.4%	7.7%	0.0%	15.4%	38.5%	
後天性(高齢期)	回答者数			1		1		2
	構成比	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
全体の 回答者数		4	6	2	1	6	5	24
全体の 構成比		16.7%	25.0%	8.3%	4.2%	25.0%	20.8%	100.0%

問３５　同居者とのコミュニケーション方法

複数回答

	人数	構成比
音声	18	51.4%
手話	1	2.9%
触手話	1	2.9%
弱視手話	1	2.9%
指文字（ローマ字式）	0	0.0%
指文字（日本語式）	1	2.9%
文字（筆談）	5	14.3%
文字（空書き）	0	0.0%
文字（てのひら書き）	1	2.9%
点字筆記	0	0.0%
指点字	0	0.0%
その他	5	14.3%
特にない	2	5.7%



※その他の回答

携帯電話の文字入力

キュードスピーチ（P59　注１参照）

身振り

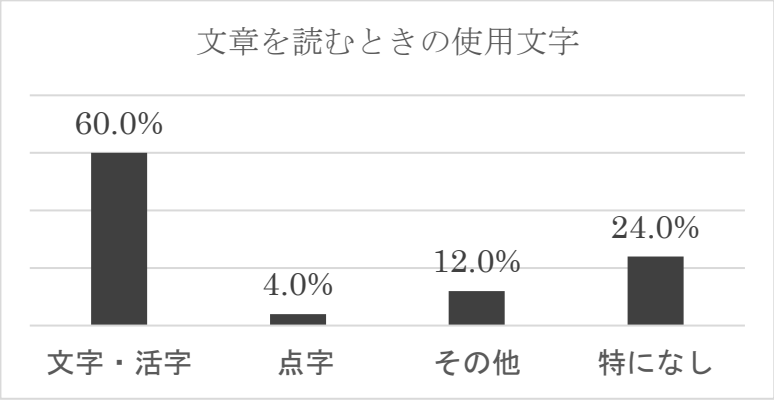
オブジェクトキュー（P65　注１参照）

４．情報入手

問３６　文章を読むときの使用文字

複数回答

	人数	構成比
文字･活字	15	60.0%
点字	1	4.0%
その他	3	12.0%
特になし	6	24.0%
総計	25	100.0%



※その他の回答

視覚障害者用活字読み上げ装置

代読

問３７　独力での情報入手能力

◆年齢階級と独力での情報入手能力

表：年齢階級と独力での情報入手能力

年齢階級	値	全く得ることができない	どちらとも言えない	かなり得ることができる	すべて得ることができる	総計
10歳代	回答者数	1				1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
20歳代	回答者数	3			2	5
	構成比	60.0%	0.0%	0.0%	40.0%	
30歳代	回答者数			2		2
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
40歳代	回答者数			1		1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
50歳代	回答者数		1			1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	1		1		2
	構成比	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
70歳代	回答者数			1	2	3
	構成比	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	
80歳代	回答者数		1	3	2	6
	構成比	0.0%	16.7%	50.0%	33.3%	
90歳以上	回答者数	2		1		3
	構成比	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	
全体の 回答者数		7	2	9	6	24
全体の 構成比		29.2%	8.3%	37.5%	25.0%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ（等級）と独力での情報入手能力

表：視聴覚障害組み合わせ（等級）と独力での情報入手能力

視聴覚障害　組み合わせ	値	全く得ることができない	どちらとも言えない	かなり得ることができる	すべて得ることができる	総計
視覚1･2級 聴覚1･2級	回答者数	3		3		6
	構成比	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
視覚1･2級 聴覚3-6級	回答者数	2	2	5	2	11
	構成比	18.2%	18.2%	45.5%	18.2%	
視覚3-6級 聴覚1･2級	回答者数				2	2
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
視覚3-6級 聴覚3-6級	回答者数	2		1	2	5
	構成比	40.0%	0.0%	20.0%	40.0%	
全体の 回答者数		7	2	9	6	24
全体の 構成比		29.2%	8.3%	37.5%	25.0%	100.0%

◆視聴覚障害経緯（５分類）と独力での情報入手能力

表：視聴覚障害経緯（５分類）と独力での情報入手能力

視聴覚障害の受障経緯の組み合わせ	値	全く得ることができない	どちらとも言えない	かなり得ることができる	すべて得ることができる	総計
先天性	回答者数	4			1	5
	構成比	80.0%	0.0%	0.0%	20.0%	
盲ベース	回答者数	1				1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数			2	1	3
	構成比	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	
後天性(成人期)	回答者数	1	2	6	4	13
	構成比	7.7%	15.4%	46.2%	30.8%	
後天性(高齢期)	回答者数	1		1		2
	構成比	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
全体の 回答者数		7	2	9	6	24
全体の 構成比		29.2%	8.3%	37.5%	25.0%	100.0%

問３８　情報入手頻度

◆年齢階級と独力での情報入手頻度

表：年齢階級と独力での情報入手頻度

年齢階級	値	毎日	1週間に3～4日程度	1週間に1～2日程度	ほとんど情報を得ていない	まったく情報を得ていない	総計
10歳代	回答者数					1	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
20歳代	回答者数	2				3	5
	構成比	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	
30歳代	回答者数	2					2
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	回答者数		1				1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	回答者数		1				1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	1			1		2
	構成比	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
70歳代	回答者数	3					3
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
80歳代	回答者数	5		1			6
	構成比	83.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	
90歳以上	回答者数	1			1	1	3
	構成比	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	
全体の 回答者数		14	2	1	2	5	24
全体の 構成比		58.3%	8.3%	4.2%	8.3%	20.8%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ（等級）と独力での情報入手頻度

表：視聴覚障害組み合わせ（等級）と独力での情報入手頻度

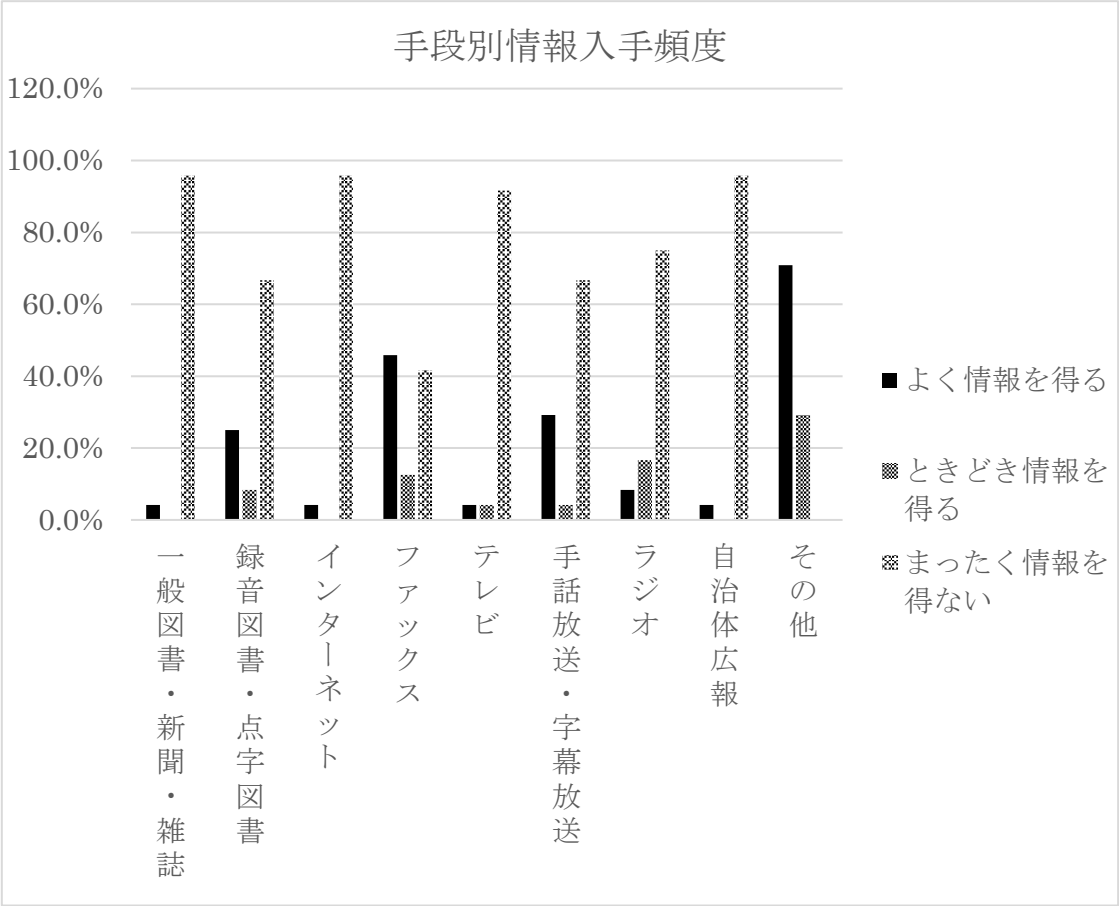
視聴覚障害組み合わせ	値	毎日	1週間に3～4日程度	1週間に1～2日程度	ほとんど情報を得ていない	まったく情報を得ていない	総計
視覚1･2級 聴覚1･2級	回答者数	2	1			3	6
	構成比	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	50.0%	
視覚1･2級 聴覚3-6級	回答者数	7	1	1	1	1	11
	構成比	63.6%	9.1%	9.1%	9.1%	9.1%	
視覚3-6級 聴覚1･2級	回答者数	2					2
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚3-6級 聴覚3-6級	回答者数	3			1	1	5
	構成比	60.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	
全体の 回答者数		14	2	1	2	5	24
全体の 構成比		58.3%	8.3%	4.2%	8.3%	20.8%	100.0%

◆視聴覚障害経緯（５分類）と独力での情報入手頻度

表：視聴覚障害経緯（５分類）と独力での情報入手頻度

視聴覚障害の受障経緯の組み合わせ	値	毎日	1週間に3～4日程度	1週間に1～2日程度	ほとんど情報を得ていない	まったく情報を得ていない	総計
先天性	回答者数	1				4	5
	構成比	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	
盲ベース	回答者数				1		1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	2	1				3
	構成比	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
後天性(成人期)	回答者数	10	1	1		1	13
	構成比	76.9%	7.7%	7.7%	0.0%	7.7%	
後天性(高齢期)	回答者数	1			1		2
	構成比	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
全体の 回答者数		14	2	1	2	5	24
全体の 構成比		58.3%	8.3%	4.2%	8.3%	20.8%	100.0%

問３９　手段別情報入手頻度



５．災害時の避難について

問４０　災害時の支援者

◆年齢階級と災害時の支援者

表：年齢階級と災害時の支援者

年齢階級	値	いる	いない	総計
10歳代	回答者数	1		1
	構成比	100.0%	0.0%	
20歳代	回答者数	4	1	5
	構成比	80.0%	20.0%	
30歳代	回答者数	2		2
	構成比	100.0%	0.0%	
40歳代	回答者数		1	1
	構成比	0.0%	100.0%	
50歳代	回答者数		1	1
	構成比	0.0%	100.0%	
60歳代	回答者数	2		2
	構成比	100.0%	0.0%	
70歳代	回答者数	2	1	3
	構成比	66.7%	33.3%	
80歳代	回答者数	3	3	6
	構成比	50.0%	50.0%	
90歳以上	回答者数	3		3
	構成比	100.0%	0.0%	
全体の 回答者数		17	7	24
全体の 構成比		70.8%	29.2%	100.0%

※コメント

支援者は、家族（同居または近所に在住）、入所施設職員、近所の友人、民生委員など。

◆視聴覚障害組み合わせ（等級）と災害時の支援者

表：視聴覚障害組み合わせ（等級）と災害時の支援者

視聴覚障害組み合わせ	値	いる	いない	総計
視覚1･2級 聴覚1･2級	回答者数	5	1	6
	構成比	83.3%	16.7%	
視覚1･2級 聴覚3-6級	回答者数	6	5	11
	構成比	54.5%	45.5%	
視覚3-6級 聴覚1･2級	回答者数	2		2
	構成比	100.0%	0.0%	
視覚3-6級 聴覚3-6級	回答者数	4	1	5
	構成比	80.0%	20.0%	
全体の 回答者数		17	7	24
全体の 構成比		70.8%	29.2%	100.0%

◆視聴覚障害経緯（５分類）と災害時の支援者

表：視聴覚障害経緯（５分類）と災害時の支援者

視聴覚障害の受障経緯の組み合わせ	値	いる	いない	総計
先天性	回答者数	4	1	5
	構成比	80.0%	20.0%	
盲ベース	回答者数	1		1
	構成比	100.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	2	1	3
	構成比	66.7%	33.3%	
後天性(成人期)	回答者数	8	5	13
	構成比	61.5%	38.5%	
後天性(高齢期)	回答者数	2		2
	構成比	100.0%	0.0%	
全体の 回答者数		17	7	24
全体の 構成比		70.8%	29.2%	100.0%

問４１　避難所の場所や避難経路の認知

※避難所や避難経路を知っているのは４５．８％

◆年齢階級と避難所の場所や避難経路の認知

表：年齢階級と避難所の場所や避難経路の認知

年齢階級	値	避難場所も避難経路も知っている	避難所も避難経路も知らない	総計
10歳代	回答者数		1	1
	構成比	0.0%	100.0%	
20歳代	回答者数		5	5
	構成比	0.0%	100.0%	
30歳代	回答者数	1	1	2
	構成比	50.0%	50.0%	
40歳代	回答者数	1		1
	構成比	100.0%	0.0%	
50歳代	回答者数	1		1
	構成比	100.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	1	1	2
	構成比	50.0%	50.0%	
70歳代	回答者数	1	2	3
	構成比	33.3%	66.7%	
80歳代	回答者数	5	1	6
	構成比	83.3%	16.7%	
90歳以上	回答者数	1	2	3
	構成比	33.3%	66.7%	
全体の 回答者数		11	13	24
全体の 構成比		45.8%	54.2%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ（等級）と避難所の場所や避難経路の認知

表：視聴覚障害組み合わせ（等級）と避難所の場所や避難経路の認知

視聴覚障害組み合わせ	値	避難場所も避難経路も知っている	避難所も避難経路も知らない	総計
視覚1･2級 聴覚1･2級	回答者数	2	4	6
	構成比	33.3%	66.7%	
視覚1･2級 聴覚3-6級	回答者数	5	6	11
	構成比	45.5%	54.5%	
視覚3-6級 聴覚1･2級	回答者数	1	1	2
	構成比	50.0%	50.0%	
視覚3-6級 聴覚3-6級	回答者数	3	2	5
	構成比	60.0%	40.0%	
全体の 回答者数		11	13	24
全体の 構成比		45.8%	54.2%	100.0%

◆視聴覚障害経緯（５分類）と避難所の場所や避難経路の認知

表：視聴覚障害経緯（５分類）と避難所の場所や避難経路の認知

視聴覚障害の受障経緯の組み合わせ	値	避難場所も避難経路も知っている	避難所も避難経路も知らない	総計
先天性	回答者数		5	5
	構成比	0.0%	100.0%	
盲ベース	回答者数		1	1
	構成比	0.0%	100.0%	
ろうベース	回答者数	2	1	3
	構成比	66.7%	33.3%	
後天性(成人期)	回答者数	8	5	13
	構成比	61.5%	38.5%	
後天性(高齢期)	回答者数	1	1	2
	構成比	50.0%	50.0%	
全体の 回答者数		11	13	24
全体の 構成比		45.8%	54.2%	100.0%

問４２　災害への備え

複数回答

家具の転倒防止	10	25.0%
食糧･飲料などの備蓄	13	32.5%
非常用持ち出しバックの準備	10	25.0%
家族同士の安否確認方法を決める	5	12.5%
その他	2	5.0%

※その他

災害時の訓練や机上訓練を定期的に行っている入所施設や事業所がある。

問４３　過去の災害で困ったこと（自由記述）

・３．１１（東日本大震災）の時に車椅子から転倒、気を失ってその後起き上がり玄関のドアを開けに行った。ヘルパーさんが１１９に電話してくれて病院に運ばれた。
・人形ケースが割れ、物が倒れた。
・東日本大震災の時は、停電でエレベーターが使用出来なかった。
・ひとりで買い物をしている時に地震が起き、逃げられずお店に取り残された。しばらくして主人が助けに来てくれた。
・災害時テレビのアンテナが壊れ情報が入らなかった。
・エレベーターに水が入り停止したため３日間外出できなかった。
・災害時、メールが使えなかった。
・認知症のため、停電で不安になり騒いでしまった。（家族談）
・台風災害時停電したため、二日間車で生活した。

問４４　災害に対する具体的な不安（自由記述）

・一人の時に何か起きたらどうしようかと不安。
・災害時に避難先で生活することを考えると不安。
・自分の病気のことやペットの事を考えると他の人と一緒に生活するのは無理。丈夫なテントを購入して避難所の近くにテントを張りたい。
・見えない、聞こえないのでコミュニケーションの問題があり、支援してもらえるのかが不安。
・目と耳の障害に加え左下肢機能障害があるのでそれが不安。
・災害時に透析に行くことが不安。
・家にひとりでいる時に災害が起きたら、どういう方法で避難するのかが不安。
・災害時、施設で停電すると、命に関わるので不安。
・災害時、支援してもらえるか、配慮してもらえるかが不安。
・災害時、避難所には行けない。個室があればよいが、オムツ使用なので交換する場所があるかどうか。
・通勤時に災害が起きて電車が止まったらどうしたらよいか不安。

６．福祉サービスの認知状況・利用状況・不利用の理由

問４５　人的支援による福祉サービス利用の有無

表：人的支援による福祉サービス利用の有無

	値	盲ろう者向け通訳・介助員派遣	手話通訳者、要約筆記者派遣	視覚障害者向け移動介助・同行援護	ホームヘルパー派遣	その他福祉サービス
毎日					1	5
	構成比				4.1%	20.8%
1週間に5～6日程度						2
	構成比					8.3%
1週間に3～4日程度		1		2	1	
	構成比	4.1%		8.3%	4.1%	
1週間に1～2日程度		1		1	1	3
	構成比	4.1%		4.1%	4.1%	12.5%
2週間に1～2日程度			1			
	構成比		4.1%			
1ヶ月に1～2日程度		1		1		1
	構成比	4.1%		4.1%		4.1%
ほとんど利用していない		1	1			
	構成比	4.1%	4.1%			
まったく利用していない		20	22	20	21	13
	構成比	83.3%	91.6%	83.3%	87.5%	54.1%
統計		24	24	24	24	24

※その他の福祉サービス

・療養型入所施設

・特別養護老人ホーム

・介護付き有料老人ホーム

・生活介護

・訪問看護

・就労継続支援Ａ型、Ｂ型

問４６　人的福祉サービス不利用の理由

複数回答

※「福祉サービスがあることを知らなかった」７名、
　次に「移動やコミュニケーションのことは自分でできるから」が続く。

	件数	構成比
福祉サービスがあることを知らなかった	7	28.0%
移動やコミュニケーションのことは自分でできるか	6	24.0%
家族がサポートしてくれるから	5	20.0%
福祉サービスの利用の仕方がよくわからない	4	16.0%
サービスを利用するまでの手続きが面倒だから	0	0.0%
その他	3	12.0%

※その他の回答

・老人ホームの生活に満足している。
・盲ろう者向けの福祉サービスを知らなかった。
・障害等級の調査をした医師から、本当に困っている人にサービスを回すように促された。
・自分のことは自分でできるので不要。

問４７　人的支援による福祉サービスの利用希望有無

※盲ろう者向け通訳介助員派遣事業の利用を希望する人が９名いる。

表：人的支援による福祉サービスの利用希望有無

	盲ろう者向け通訳・介助員派遣	手話通訳者、要約筆記者派遣	視覚障害者向け移動介助・同行援護	ホームヘルパー派遣	その他福祉サービス
毎日					4
					16.6%
1週間に5～6日程度					3
					12.5%
1週間に3～4日程度	2		1		
	8.3%		4.1%		
1週間に1～2日程度	4		1		
	16.6%		4.1%		
2週間に1～2日程度		1			
		4.1%			
1ヶ月に1～2日程度	3	1	3	1	
	12.5%	4.1%	12.5%	4.1%	
ほとんど希望しない	2		2		
	8.3%		8.3%		
まったく希望しない	13	22	17	23	17
	54.1%	91.6%	70.8%	95.8%	70.8%
統計	24	24	24	24	24

問４８　介護保険サービス利用有無

	件数	構成比
利用している	5	20.8%
利用していない	19	79.2%
総計	24	100.0%

問４８－１　要支援・要介護度

	件数	構成比
要支援1	1	20.0%
要介護2	1	20.0%
要介護3	2	40.0%
要介護4	1	20.0%
総計	**5**	**100.0%**

問４９　補装具・日常生活用具の支給・給付有無

	件数	構成比
支給・給付を受けている	16	66.7%
支給・給付を受けていない	8	33.3%
総計	**24**	**100.0%**

※コメント

補装具や日常生活用具には耐用年数が決められていて、修理不能であっても簡単に買い替えることができず、特に補聴器は片耳しか給付の対象になっていないため、仕事をするうえで不便を感じている。（本人談）

問４９－１　給付・支給済の補装具・日常生活用具

複数回答

※補聴器は37．5%、盲人用安全つえは33．3%の人が給付を受けている。

	件数	構成比
盲人用安全つえ	8	33.3%
義眼	2	8.3%
眼鏡	2	8.3%
電磁調理器	0	0.0%
盲人用体温計	0	0.0%
盲人用体重計	0	0.0%
盲人用時計	0	0.0%
点字ディスプレイ	0	0.0%
点字器	0	0.0%
点字タイプライター	0	0.0%
視覚障害者用拡大読書器	4	16.7%
視覚障害者用ポータブルレコーダー	1	4.2%
視覚障害者用活字読み上げ装置	1	4.2%
歩行時間延長信号機用小型送信機	0	0.0%
補聴器	9	37.5%
聴覚障害者用屋内振動装置	0	0.0%
聴覚障害者用通信装置	1	4.2%
聴覚障害者用情報受信装置	1	4.2%
その他	5	20.8%
総計	**34**	**100.0%**

※その他の回答

・車椅子

・ＰＣ用読み上げソフト

問５０　ヘルプカードの認知

	件数	構成比
すでに知っている	2	8.3%
知っている	7	29.2%
知らない	15	62.5%
総計	**24**	**100.0%**

※コメント

知らないと回答した人にはヘルプカードの手渡しと説明も行った。

問５１　利用を希望するサービス

※同じ障害のある人と交流できる場を希望する人が８名と多く、全体の３３．３％を占めている。

	件数	構成比
自分のコミュニケーション方法の訓練	5	20.8%
自分以外の人のコミュニケーション方法の訓練	3	12.5%
同じ障害のある人と交流できる場	8	33.3%
創作活動やリクリエーションができる場	5	20.8%
常時支援を受けながら生活を送ることのできる場	2	8.3%
その他	1	4.2%
総計	**24**	**100.0%**

※その他の回答

盲ろう者でも短期入所できる施設。

問５２　生活全般の困難・ニーズ（自由記述）

―生活の中で不安に思う事―
・外に出るのが怖い。
・一人の時に何かあったら不安。
・家に知らない人が来た時、自分一人では対応できない。
・一人暮らしなので怖い。
・親が亡くなった後、娘（盲ろう）の生活に不安がある。（母親談）
・災害や病気など、万が一の時は怖い。
・生活についての不安。
・障害が重くなりつつあり、不安に感じる。
・家族（妻）に何かあったらどうするか。
・本が好きだが読めなくなった。
・親が高齢になった時が心配。
・家を継いでも、給料が少ないので維持できない。
・様々な福祉サービスに繋がっていれば、保護者に万が一のことがあっても安心できる。
・外出したい気持ちはあるが、体調に不安があって出掛けられない。

―他者とのコミュニケーションについて―
・グループホームで聞こえないために、他の入居者と話ができない。
・言葉が聞き取れないことがあるが、話を合わせてしまう。
・外で声を掛けられても、返事が出来ず誤解を招くこともある。
・補聴器（集音器）は、大切な話の時は付けるが１時間が限界。
・集団の中では、聞こえにくいので消極的になってしまう。
・視覚障害者の集まりに行って落ち込んだ。
・ボランティアが来ているが子供扱いする。
・尊厳を損なう扱いをされた。
・知り合いから生活レベルが高すぎて話が合わないと敬遠された。
・施設職員からの声掛けもほとんどなく、孤独感をかかえている。

―日常生活用具等についてー
・外出できずイヤモール（耳の形状に合わせた耳せん）の作成が出来ないため、今いる施設に来てもらい作って欲しい。
・幼少期に補聴器を作ったままになっている。イヤモールのサイズや聴力にあった補聴器を作りたい。
・白杖をけとばされたことがあり折りたたみ式だと安心。
・補聴器の耐用年数が長いため、合わないものを使わなくてはならない。柔軟な対応をお願いしたい。

―日常生活でのニーズ ―
・話し相手がほしい。
・盲ろう者が入れる老人ホームが欲しい。
・いろいろなことを自分で出来るようにしたい。
・自分の事は自分でやり、人に頼らず工夫しながら生活したい。
・一人で移動時、迷ったときは助けてもらうことを拒まない。
・文字を書く時、自分で書けないので他人に書いてもらわなければならない。
・パソコンを使いこなしたい。
・時々一人で出かけるので心配。（父親談）

―福祉サービスや様々な制度の利用について―
・短期入所や、いざというとき使えるよう成年後見制度を利用したい。
・短期入所出来る場を希望。
・相談支援を受けていれば親にもしもの時繋げられる。
・短期入所も使い、いざというとき使えるよう成年後見制度を使う。
・今後のことを考えどこを利用するか課題。
・東京に行ってみたいが、介助者がいれば東京に行ける。
・全く見えない聞こえない状態になる前に、生きて行くための訓練をしたい。
・総合支援センターが欲しい。

問５３　盲ろう者関係団体からの案内の希望の有無

表: 盲ろう者関係団体からの案内の希望の有無

	総数	割合
希望する	15	62,5%
希望しない	8	33,3%
無回答	1	4,2%
合計	24	100,0%